

四、二六 此日公立中島尋常小學校に高等科の女兒を收容す。
 此日より五月二日迄公立彌生尋常高等小學校に於て同校長委員長となり、罹災學童慰問品貳千餘箱を全市小學校より選出の委員の手に依り整理す。
 五、二 函館市教育研究會を市役所内に設く。函館市小學校長協議會及び函館市初等教育研究會二十三部之に屬す。會長市助役彌吉茂樹。本月より實施す。
 五、二 此日より六月二日迄に全市小學校兒童及び教員に腸チフス豫防經口ワクチンを服用せしむ。
 五、三 彌生小學校に於て整理完了の慰問學用品、教科書、衣類を全市小學校へ配給す。
 此日より全市小學校兒童へジフテリアの豫防注射（三年生迄）及び種痘をなす。
 皇太子殿下初御節句の日をトし兼て市立函館圖書館募集の罹災兒童同情圖書雜誌拾貳萬四千三百六拾五冊を四日より配布す。
 備考
 一拾貳萬四千參百六拾五冊 受附總冊數
 配給内譯
 一九萬五千壹百八拾六冊 罹災小學校其他へ配給。雜誌。
 一五九百五拾冊 罹災學校附設兒童文庫基本圖書として配給。單行本。
 一貳萬參千貳百貳拾九冊 全部バックへ配給。廢棄雜誌。
 函館教育會、中等學校長會、小學校長會共催にて大火災學校職員、生徒、兒童遭難者
 （同館記錄）
 =プンタス念記=



五、一七 追悼會を元町別院に舉行す。
 公立小學校訓導兼校長佐藤市彌（若松尋常高等小學校長）小學校令施行規則第二百二十七條に依り本職並びに兼職を免ぜらる。
 六、四 再び學童慰問品を公立彌生尋常高等小學校にて整理し配給す。
 六、五 故東郷元帥國葬に付遙拜式を舉行す。
 六、三 本年度に於ける小學校の備品消耗品費は五割減となり、新學級編成は七月一日より實施することに決す。本年度に於て約五萬圓を減少する見込なり、従つて二部教授の實施と共に餘剩教員六十餘名を整理することとなる。小學校小使の給料一割五分減。
 六、一 全市小學校教員協議し俸給一割寄附採納願を取纏め市長に提出す。之を人件費として可及的に整理人員を減少せしめんが爲なり。
 六、三五 私立山田裁縫女學校榮町百參番地に假校舍を設置、移轉授業す。
 六、二六 市經由學校義捐金を各學校に分配す。
 七、一七 市當局の取纏めて道廳に發送したる市内教員の辭表は一括して却下せられ實情調査として道廳視學佐々木毅一來函、廳立函館師範學校に全市小學校長を召集して其の實情を聴取す。
 七、一七 函館圖書館募集罹災兒童同情雜誌の配給を了る。



=校學女縫裁田山=

昭和十二年三月十三日津輕支庁司令部檢閲済

八、一	市主催、北海タイムス社後援の釜谷海濱學校十日間開設す。三ヶ年繼續の事業なり。校長田村胤次郎。
八、三〇	小學校授業を開始す。
九、二二	財団法人共愛會を函館市役所内に設置す。
九、二六	全市小學校柏野綜合運動場に体育會を催す。
一〇、三	函館教育會救護捐金を各學校に分配す。
一〇、一〇	少年保護法、當市に實施せられ長官より五名の委員を任命せらる。
一〇、三〇	實業教育五十周年記念日に當る。當市は遠慮何等の催無し。
一〇、	整理教員の辭表却下、一時的解決となる。
一〇、	ドミニコ幼稚園宮前町天主教教會内に開園す。園長マリア、ヨセフ、レミュ。満三歳より學齡迄の幼兒定員八十名。保育期間一ケ年。
二、一〇	私立大谷幼稚園曙町八番地の舊地に再築す。
三、三	公立大森尋常夜學校長佐藤充雄死去。 (同校沿革誌)
三、三〇	公立新川尋常高等小學校、公立函館女子高等小學校改修工事竣成市に引渡を了す。



= 園稚幼谷大 =



= 園稚幼コニミド =

昭和十二年三月十三日津輕警察司全部檢閲済

三、二六	道廳關係官衙より罹災教員に見舞金を贈らる。
一、一	函館市教育是綱領三、要項十二條を定む。
一、二九	函館市初等教育研究會書方部二十八日迄十日間第一回書初展覽會を森屋に開催す。以降毎年開催の筈。
一、三二	公立新川尋常高等小學校、公立函館女子高等小學校改築校舎にて授業を開始す。
一、三六	公立函館女子高等小學校に於て下駄棚の下敷となり公立寶尋常高等小學校兒童一名壓死す。
一、	兒童齒科診療所を公立新川尋常高等小學校に再開す。
二、一	橋本金太郎設立の財団法人橋本育英會、皇太子殿下御降誕記念事業として設立せらる。
二、二六	函館市災害警防規程達せらる。
三、一〇	陸軍記念日に付き日露戰役三十年記念祝賀會を森屋百貨店に開催す。市立函館圖書館は郷土の參戰將校藤村駒藏著「瓦全の僕」を刊行す。
三、二二	三、二一大風火災横死者慰靈祭を佛式にて舉行。各學校新川納骨堂參拜、避難演習を行ふ。



= 郎太金本橋 =

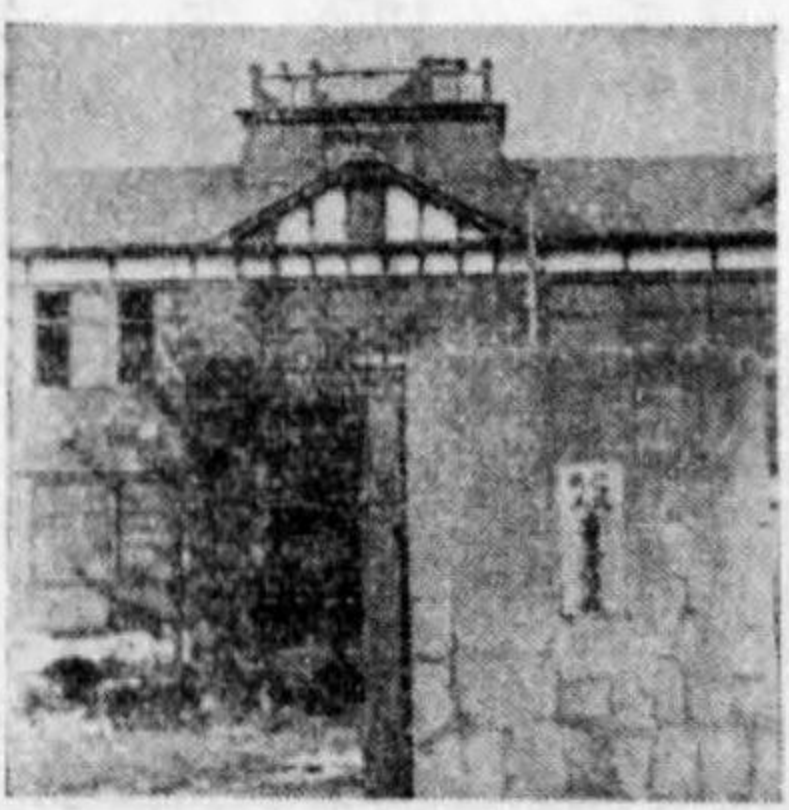


= 校學小川新 =

(一ノ二五六)

1935

三、三	應立函館商船學校廢校となる。 (西田貞次郎氏談)
四、一	青年學校令青年學校規程公布せらる。 (一ノ二九一ノ二三〇)
四、一	官立函館高等水産學校開設せらる。
四、一	應立函館水産學校舊應立函館商船學校に開設せらる。
四、二	公立中島尋常小學校、公立松風尋常小學校何れも高等科を併置す。
四、五	函館放送局「學校放送」を開始す。
四、三〇	應立函館水産學校開校式を舉行す。
五、一	官立函館高等水産學校開校式を擧ぐ。
五、三〇	函館家庭寮招魂社社務所に開設す。寮長齋藤與一郎。入學資格高女卒業程度、修了六ヶ月、連續開寮の筈。
五、三〇	昭和技藝學校西川町百五番地の新校舎に移轉し授業を開始す。
六、一	應立函館中學校創立四十周年記念式舉行。
六、五	北海道招魂社創立、鎮座祭遙拜式舉行。
六、八	公立新川尋常高等小學校屋內運動場完成。



= 校學產水立應 =



= 校學產水等高 =

昭和十二年三月十三日津輕支庁司令部檢閲

六、四	應令第三十三號青年學校令施行細則達せらる。
七、一	「港まつり」第一日祭式祝典を西濱岸壁に舉行す。正午小學校兒童其他市内三ヶ所に集合し旗行列を行ひ公園地に集合學式の上解散す。
七、二	「港まつり」第二日公園に於て函館市先覺功勞者六十四名の英靈を祀る。函館市功勞者小傳刊行。
七、七	函館市女教員研究發表會を公立彌生女子尋常小學校に開催す。
七、三	函館市告示第一三〇號を以て函館市の徽章を定む。 (四ノ二ノ三〇六號)
八、一	公立青年訓練所を廢し公立青年學校を設置す。全市青年學校合同創立式を公立松風尋常高等小學校に擧ぐ。 市立函館商工實修學校を廢し新に市立函館商工青年學校を公立彌生尋常高等小學校に併置し、(商業部) 分教場を公立若松尋常高等小學校(工業部)に置く。校長齋藤與一郎。(三ノ三三) 女子商業部は獨立して函館市立實修女子青年學校となり、公立函館女子高等小學校に置く。 初等教育研究會地理部員九名漁業會社の厚意により北洋漁業の實際を視察し月末歸函す。(一ノ二四三)



= 校學藝技和昭 =



= 校學年青子女修實 =

昭和十二年三月十三日津輕支庁司令部檢閲

八、六
九、六
九、一八
九、二〇
九、三九
九、三〇
一〇、一
一〇、三
一〇、四
一〇、五
一〇、二

A校地鎮祭を東川町堤防に舉行す。
明治天皇御上陸記念碑定礎式及除幕式を行ひ全市小學生代表及職員參列。
伏見宮殿下奉迎送。
函館市小學校衛生婦會創立十周年記念會を公立新川尋常高等小學校に舉ぐ。
公立新川尋常高等小學校に於て函館市初等教育研究會の第一回研究發表會を舉行す。
綜合運動場に於て第四回体育大會を舉行す。
函館市立小學校授業料徴收規程を定む。高等科は従來通り金壹圓、尋常科は金貳拾錢(但同一世帯より二人以上の兒童同時に就學する場合は一人は全額他は半額とす)校内に於て教員集金し吏員に引渡す。
應立函館高等女學校創立三十周年祝賀會を催す。
函館家庭寮綱領三條を定む。
公立新川尋常高等小學校修築落成式を舉ぐ。
公立函館女子高等小學校修築落成式を舉ぐ。
十三日迄手工科制定五十周年記念展覽會を初等教育研究會手工工業部主催となり丸井



明治天皇三皇蹟
= 記念碑


昭和十二年三月十三日津野實司全部檢閲済

一〇、一九
一〇、一九
一〇、二四
一〇、三六
一〇、三七
一〇、三三
一一、一
一一、七
一一、八
一一、一〇
一一、二
一一、二
一一、九
一一、三
一一、六

金森兩百貨店に開く。
北千島視察教員座談會を函館女子高等小學校に開く。
公立柏野、萬年橋兩尋常小學校増築工事落札決定す。
市内小學校長主席教員公民科部員を集め新川小學校に於て公民教育研究講習會を開く。
市内小學校教員製作教具展覽會を金森百貨店に開く。十五科目百三十六種四百十八點。
函館家庭寮第一回卒業式、卒業生十名。
學童世界勤儉デー。
熱田神宮本殿遷座祭遙拜式舉行。休校。
十三日迄第三回全國精神作興週間。
全市小學校兒童圖書成績展覽會を金森百貨店にて開く。圖書部主催。
中等學校競辯大會を日魯講堂に開く。主催官立函館高等水産學校。
十六日迄音楽週間。
函館市綜合運動場乙種競技場として公認せらる。(日本陸上競技聯盟)
C校を的場町に建築することとなり森川組と二十一万一千圓にて隨意契約をなす。
高等小學校教育五十年記念會に當市より櫻田(中島)羽田(女子)宗像(新川)の三名東京へ出張、表彰せらる。

<p>二、六 二、七 二、八 二、九 三、〇 三、一 三、二 三、三 三、四 三、五 三、六 三、七 三、八 三、九 四、〇</p>	<p>B 校位置問題に就き實行委員陳情書を市長及議長に提出す。 廳立函館工業學校に電気科設置方を岡本商工會議所會頭より長官及議長に提出す。 C 校地鎮祭を執行し起工す。 天然痘豫防注射を公立彌生尋常高等小學校兒童に試む。 公立大森尋常高等小學校、公立住吉尋常小學校の新校舍落成引渡を了す。 第七回函館市會に於て昭和十年度函館市特別會計復興事業費歳入歳出更正豫算を議決す。 公立住吉尋常小學校、公立彌生尋常高等小學校内の本部を引上ぐ。 公立大森尋常高等小學校新校舍落成に付公立千代ヶ岱小學校内の本部を引拂ひ新校舎に入る。</p>
<p>昭(丙子) 和一一 二五九 二六〇</p>	<p>一、九 一、一〇 一、一一 一、一二 一、一三 一、一四 一、一五 一、一六 一、一七 一、一八 一、一九 一、二〇 一、二一 一、二二 一、二三 一、二四 一、二五 一、二六 一、二七 一、二八 一、二九 一、三〇 一、三一 一、三二 一、三三 一、三四 一、三五 一、三六 一、三七 一、三八 一、三九 一、四〇</p> <p>公立沙見尋常高等小學校(幸校)、公立實尋常高等小學校(彌生女子校)、公立第二東川尋常小學校(函女校)、市立商工青年學校商業部(彌生校)は何れも本部を公立住吉尋常小學校に移轉す。 公立東川尋常小學校は公立函館女子高等小學校に本部を移す。 家庭寮中島町へ移轉す。 公立住吉尋常小學校を公立青柳尋常小學校、公立大森尋常高等小學校を公立高盛尋常高等小學校と改稱す。</p>
 <p>= 寮庭家 =</p>	<p>1936</p>

昭和十二年三月十三日津輕警察司全部檢閲済

<p>昭和一 二〇</p>	<p>一、三 一、四 一、五 一、六 一、七 一、八 一、九 二、〇 二、一 二、二 二、三 二、四 二、五 二、六 二、七 二、八 二、九 三、〇 三、一 三、二 三、三 三、四 三、五 三、六 三、七 三、八 三、九 四、〇</p> <p>三日間日魯漁業會社講堂に於て道廳主催公民教育講座を開き青年團幹部、教員、町村吏員をして聽講せしむ。 三日間初等教育研究會書方部主催。森屋百貨店に於て書初展覺會を開催す。 函館市主催。小學校教員を新川校に召集し選舉肅正講演會を開く。 精華塾(女給を集めたる學校)開塾式を松風町成田山新勝寺に舉行す。塾頭叶内庄次郎。 流行性感冒猖獗に付新川、若松小學校四日間の臨時休校をなす。 本日以降市内小學校二十二校、授業短縮又は休校す。 公立青柳尋常小學校に兒童齒科診療所を開く。 公立新川尋常高等小學校に於て本市最初の改正選舉法に依る選舉公營演說會を開く。 公立大森尋常夜學校を公立高盛尋常夜學校と改稱す。 一週間選舉肅正強調週間とす。 市立小學校長、主席、次席、教員等を公立新川尋常高等小學校に召集し道廳學務課長選舉肅正の訓示をなす。 私立遺愛女學校定員を四百名に増員の件認可せらる。</p>
 <p>= 校學小柳青 =</p>	<p>1936</p>

昭和十二年三月十三日津輕警察司全部檢閲済

- 二、五 函館市立商工青年學校位置を變更公立青柳尋常小學校に併置の件認可せらる。(二ノ六)
- 二、三六 不祥事件帝都に勃發一世を驚愕せしむ。
- 二、三八 奉勅命令下る。
- 二、三九 叛徒歸順鎮定し、萬民安堵す。
- 三、九 官立函館高等水産學校寄宿舎北寮自火により全焼す。
- 三、一〇 陸軍記念日一切の催物を中止す。
- 三、一一 始めて「勤儉貯蓄記念日」を定め貯蓄を奨励す。
- 三、一四 官立函館高等水産學校卒業式を舉行す。之れ北海道帝國大學水産専門部より獨立移轉後第一回の卒業式なり。
- 三、一六 高砂町四十五番地私立鷗春裁縫女學校自火を發し全焼す。
- 三、三三 公立汐見尋常高等小學校の高等科を廢止す。
(大場源七郎氏談)
- 三、三三 北海道廳訓令第二百八號公立汐見尋常小學校を公立青柳尋常小學校に併合す。
- 三、三三 公立函館女子高等小學校長羽田多吉他校長九名移動す。
- 三、三一 B校敷地市長の原案執行となり本日建築認可せらる。
- 四、一 廳立函館商業學校學則の一部(學科課程及每週教授時數)改正實施せらる。
- 四、一 市立小學校授業料徴收事務取扱手續變更に付教員取集め校長之を一括して銀行に引渡

- 四、一 新學年より市立青年學校の帽章を制定す。「青學」を櫻花櫻葉にて包みたるもの。
- 四、二 B校工事入札二十萬二千圓にて澁谷組に落札。普通教室三十五、特別教室七、小使室等總建坪六九八六平方米竣工期限此日より三百日。
- 四、四 函館市立松風青年學校昭和十一年に於て青年學校教育研究學校に指定せらる。
- 四、六 函館商工會議所に於て小學校商業科研究部員の座談會を開く。
- 四、二二 函館市小學校齒科診療所内規及施行細則を定め診療所を公立青柳尋常小學校及公立新川尋常高等小學校に置く。
- 四、二七 函館市高砂尋常夜學校を函館市高盛尋常夜學校に併合す。
- 四、二八 兼て教育會附屬谷地頭運動場に建設の罹災者收容バラック撤去す。從て函館共愛會住宅敷地として同會に貸與の件を此日教育會總會に報告し會員の承認する所となる。
- 四、 函館市小學校兒童齒科診療所内規並に施行細則を改定す。
- 五、初旬 公立青柳尋常小學校校章を制定す。
- 五、二三 中等學校入學兒童の進學に關する中小學校教員の座談會を公立函館女子高等小學校に開催す。
- 五、三五 公立高盛尋常高等小學校給食調理室竣工。
- 五、三五 一週間鐵道省主催乗車公德週間を舉行す。

- 五、三八 法律第二十九號を以て思想犯保護觀察法を發布せらる。(官報第二八二〇號)
- 五、三九 公立函館女子高等小學校に於て市内裁縫女學校長懇談會を開く。
- 五、三〇 公立函館女子高等小學校に於て市内女教員修養會創立懇談會を開く。
- 六、一 私立函館女子職業學校堀川町九、一〇、一一番地に位置變更、新築認可。
- 六、三 廳立函館師範學校創立二十五週年祝典を舉ぐ。
- 六、三 B校地鎮祭を執行す。
- 六、一〇 全市青年學校聯合の上、公立新川尋常高等小學校に於て創立一週年記念式を舉行す。(四月一日の創立なるも本年に限り六月十日とし以後毎年五月五日舉行することに決す)
- 六、九 函館市聯合女子青年團、團報「女性函館」年三回發行に決す。
- 六、一三 公立常盤尋常小學校、公立松風尋常高等小學校、公立中島尋常高等小學校何れも研究指定學校として道廳より指定せらる。
- 六、一八 小學校兒童保護會聯合會より市立中學校を急速に設置せられんことを市長に請願す。



= 校 B =



= 校學業職子女館函 =

昭和十二年三月十三日津輕支庁司令部檢閲済

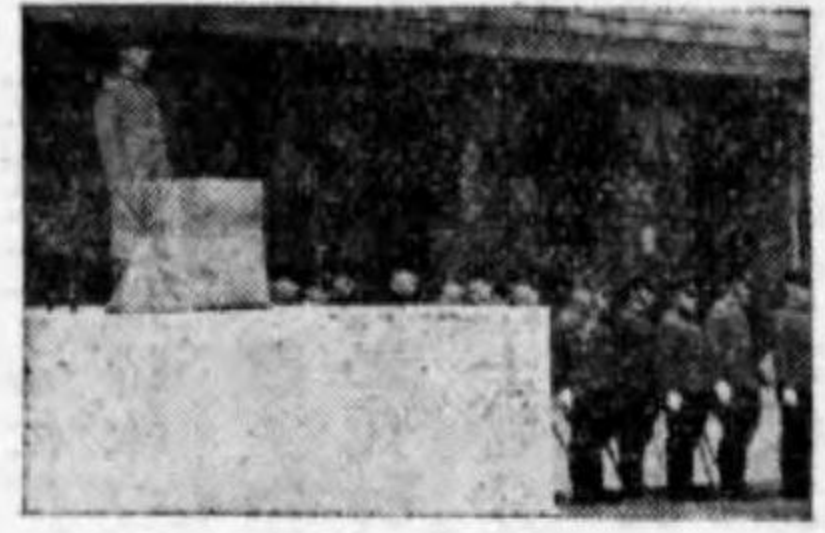
- 七、一 「港まつり」に付小學生の旗行列を舉行す。
- 七、二 公園に於て函館市功勞者慰靈祭を舉行す。
- 七、二 地理研究部員二班に分れ北洋漁業を視察す。
- 七、四 天覽兒童成績品を市役所へ搬入す。
- 七、五 本年より夏季休暇を七月二十五日より八月二十四日迄三十一日間と改む。
- 七、六 北海タイムス社、函館市共催の第三回釜谷海濱學校を開催す。
- 八、一 市立林間學校本年より再開す。教育會林間學校は例年の如し。
- 八、六 函館教育會水泳會開設二十週年記念祝賀納會を開催す。
- 九、九 A校竣工せるに付公立青柳尋常小學校に在りし者を移轉收容し十三日迄臨時休校す。
- 九、四 午前八時 聖上陛下宮城御發轅に付八時より校長訓話、九時より各學校共に氏神の御安泰祈願祭に參列す。
- 九、六 午前八時二十五分 聖上陛下室蘭へ御上陸。各學校一齊に奉迎式を舉行す。
- 一〇、二 天覽體操兒童及關係者一同八幡宮に於て修拔式を行ふ。
- 一〇、三 市立青年學校校旗八幡宮にて入魂式を行ふ。



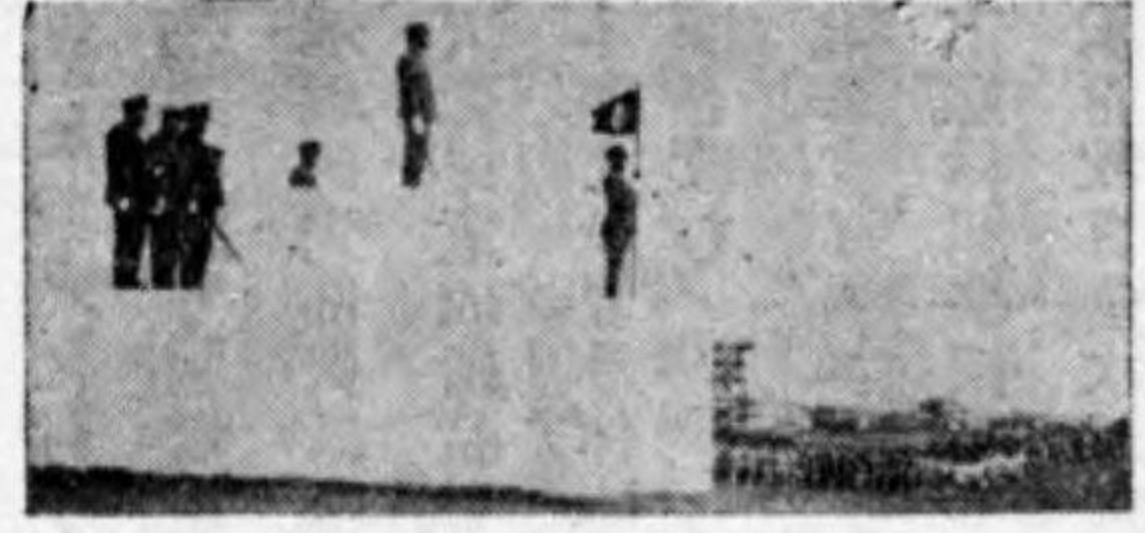
= 校 A =

昭和十二年三月十三日津輕支庁司令部檢閲済

一〇、八
一〇、九
一〇、一〇



= 體操天覽 =



= 御親閱 =

勅使小倉侍従を大沼學院に御差遣遊ばさる。
 官立函館高等水産學校、廳立函館師範學校、廳立函館工業學校、
 私立函館慈惠院等へ勅使御差遣遊ばさる。
 快晴、御召艦比叡、供奉艦白露、時雨午前八時三十五分御入港。
 聖上陛下九時五十分税關棧橋へ御上陸、重砲兵、學校兒童、生
 徒、官公吏、其他市民の奉迎裡に北海道水産試験場函館支場へ
 着御、同場を御巡覽の後屋上にて平塚常
 次郎の北洋漁業の状況を御聴取遊ばさ
 る。次で工場を御一巡あらせられ、十一
 時十二分國幣中社函館八幡宮へ着御、御
 親拜遊ばされ、同二十三分津輕要塞司令
 部へ着御、廣野要塞司令官の軍務奏上を
 聽し召され、十一時四十二分公立青柳尋
 常小學校へ着御、坂本市長御先導、宗像
 校長の御先行にて三階の御座所に入御、
 有資格者に單獨拜謁を仰付けられ、次で
 坂本市長市勢の概要を奏上す。次で列立
 拜謁者に拜謁被仰付、後御晝餐を召されて暫時御休憩。再び坂
 本市長の御先導にて市立函館圖書館所藏の史料天覽室に入らせ
 られ、坂本市長解説奏上。後屋上より全市復興の状況を御展望



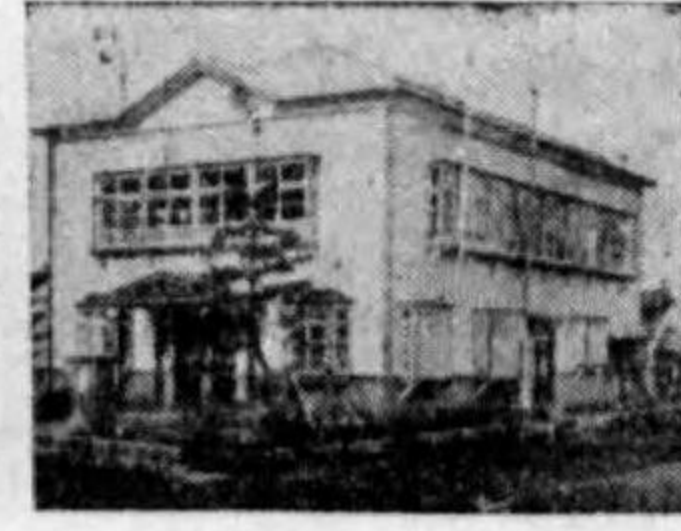
= 天覽體操 =

昭和十二年三月十三日津輕要塞司令部地圖

一〇、一三
一〇、一四
一〇、一五
一〇、一六
一〇、一七
一〇、一八
一〇、一九
一〇、二〇
一〇、二一
一〇、二二
一〇、二三
一〇、二四
一〇、二五
一〇、二六
一〇、二七

あらせらる。坂本市長復興大要言上。次で校庭玉座に立御あら
 せられ、市内小學校選抜六年生男女兒童五百名の体操を天覽あ
 り、御休憩の後柏野陸軍練兵場に向はせらる。午後一時二十分
 着御、函館市青年團、在郷軍人、青年學校、中等學校、高等水
 産學校生徒及び道南三支廳、東北四縣下の諸團體、合計男女二
 萬三千餘名を御親閱遊ばされ、天機麗しく還御あらせらる。二
 時四十分税關棧橋より御乗艦、午後四時市民、生徒奉送裡に御
 出港遊ばさる。
 陛下御歸還報告祈願祭を各神社にて執行す。學生、生徒、兒童
 參列す。

私立函館裁縫女學校壽町四五番地に新築移轉す。
 公立青柳尋常小學校に再び兒童を收容す。
 公立青柳尋常小學校開校式を舉行す。
 明治天皇、昭憲皇太后の御眞影を奉還す。(公立彌生尋常高等
 小學校、公立青柳尋常小學校、公立寶尋常高等小學校、公立東
 川尋常小學校、公立若松尋常高等小學校)
 市内幼稚園關係者よりなる保育協會創立す。
 市主催の神宮大麻及曆頒布報告祭を公立函館女子高等小學校に



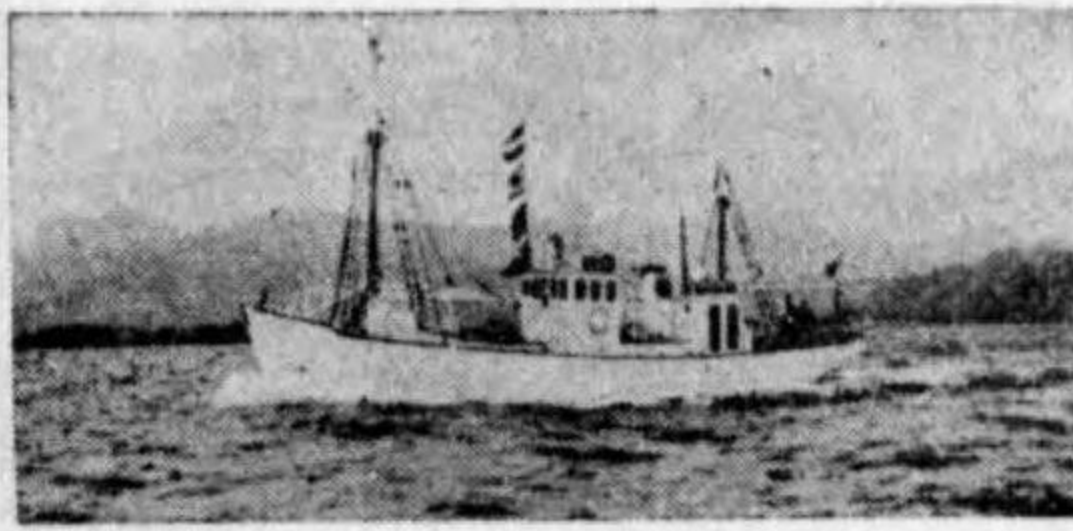
= 函館裁縫女學校 =



= 高小學校 =

昭和十二年三月十三日津輕要塞司令部地圖

二、一	開催し各學校代表者出席す。
二、二	此日より一週間行幸記念展覽會を公會堂に舉行す。市立函館圖書館主催。
二、三	体位向上兒童表彰式を舉行す。
二、四	公立高盛尋常高等小學校落成式を舉行す。
二、五	工業教育創始二十五周年記念式典を公會堂に舉ぐ。市立商工青年學校主催。
二、六	思想犯保護觀察法及同法施行令を施行す。(官報) 此日函館保護觀察所を堀川町百四十五番地に開設す。
二、七	愛國婦人會函館幼稚園旭町百三十番地に新築し落成式を舉ぐ。
二、八	廳立函館水産學校實習船北鳳丸(木製補助機關付ケツチ型帆船)竣工す。
二、九	公立萬年橋尋常小學校長奥山寛死去す。
二、一〇	兒童虐待防止に關し市内を一齊に調査す。
二、一一	私立第二大谷幼稚園千歳町七番地に落成開園式を舉行す。
二、一二	函館市的場町五十二番地に建築したるC尋常高等小學校を公立的場尋常高等小學校と改稱す。



= 丸 鳳 北 =



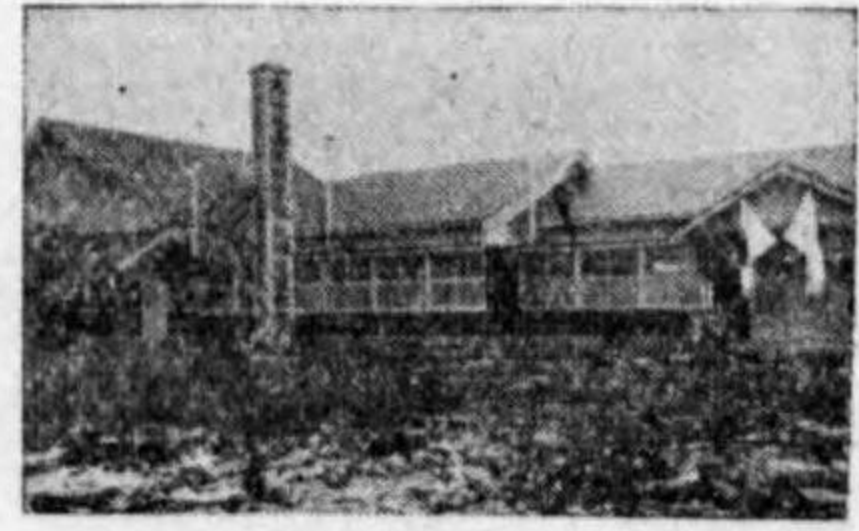
= 園 稚 幼 函 函 =

昭和十二年三月十三日津輕電報司全部檢閱済

一、二六	公立新川尋常高等小學校に於て小學校教員懇談會を開く。
一、二八	公立函館女子高等小學校に於て中小學校長の入學試験に關する打合せ會を開く。
一、二七	文部省令を以て學校身体檢查規程を發布し身体檢查の方法を改正す。
三、八	函館市會にて公立彌生尋常高等小學校改築の件を可決す。 昭和十二年第一回函館市會に彌生小學校の改築を市長より提案せらるゝや市會は恩賀徳之助を委員長とする十三名の小委員會を設定し、協議の上市長案を變更し、富岡町通りに面する奥行五間の市有地を校地に編入するを止め商店街として残存する事となし、豫算委員會に報告して之を通過せしめ本會議(八日)に於て満場一致之を可決す。歳出。臨時部第八項、小學校校舍改築費、五十万八千二百十六圓。(四ノ二ノ三四六號)
三、三	五ヶ條御誓文奉戴七十年記念式を舉行す。
三、二	大森町慰靈堂に於て佛式にて慰靈祭を舉行す。
三、一	函館市告示第九〇號を以て公立寶尋常高等小學校、公立松風尋常高等小學校、公立若松尋常高等小學校、公立新川尋常高等小學校に於ける高等科を廢止す。以上の四校は何も尋常小學校となる。
三、三	A校を公立東川尋常小學校と改稱し森萬藏を校長に任命し、B校を公立大森尋常小學校と改稱し岩城定二を校長となす。



= 校 學 小 場 的 =



= 園 稚 幼 谷 大 二 第 =

昭和十二年三月十三日津輕電報司全部檢閱済

三、三

函館市告示第九一號函館市東川町十四番地、百十五番地、百六番地ノ一に建築の小學校を東川尋常小學校、同市大森町百六番地ノ二、百七番地百八番地に建設の小學校を大森尋常小學校と稱す。

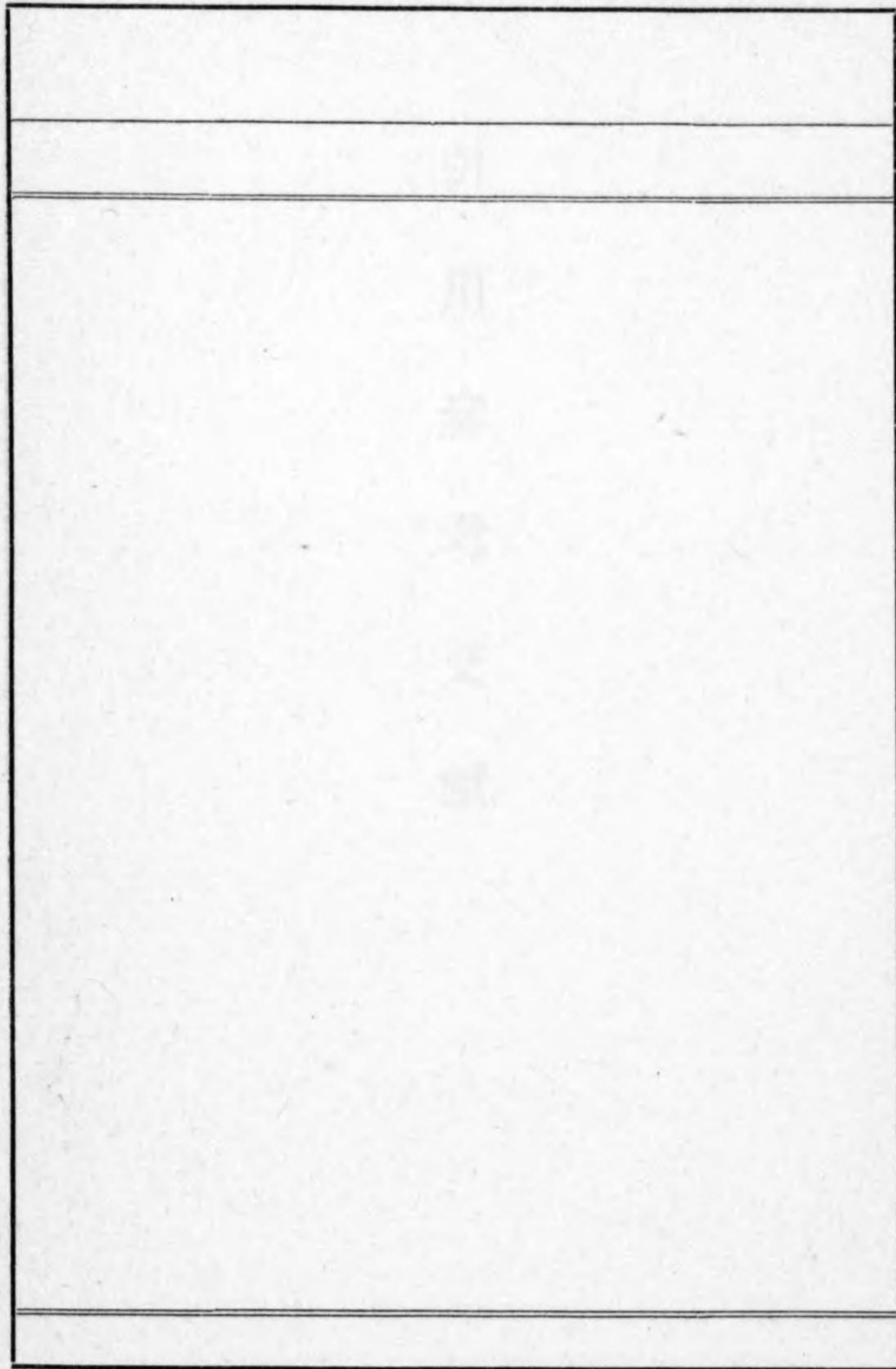
昭和十二年三月三十一日 函館市長 坂本森一

函館市告示第九二號を以て、公立寶尋常小學校並に公立第二東川尋常小學校を公立東川尋常小學校に、舊公立東川尋常小學校並に公立高砂尋常小學校を公立大森尋常小學校に併合す。

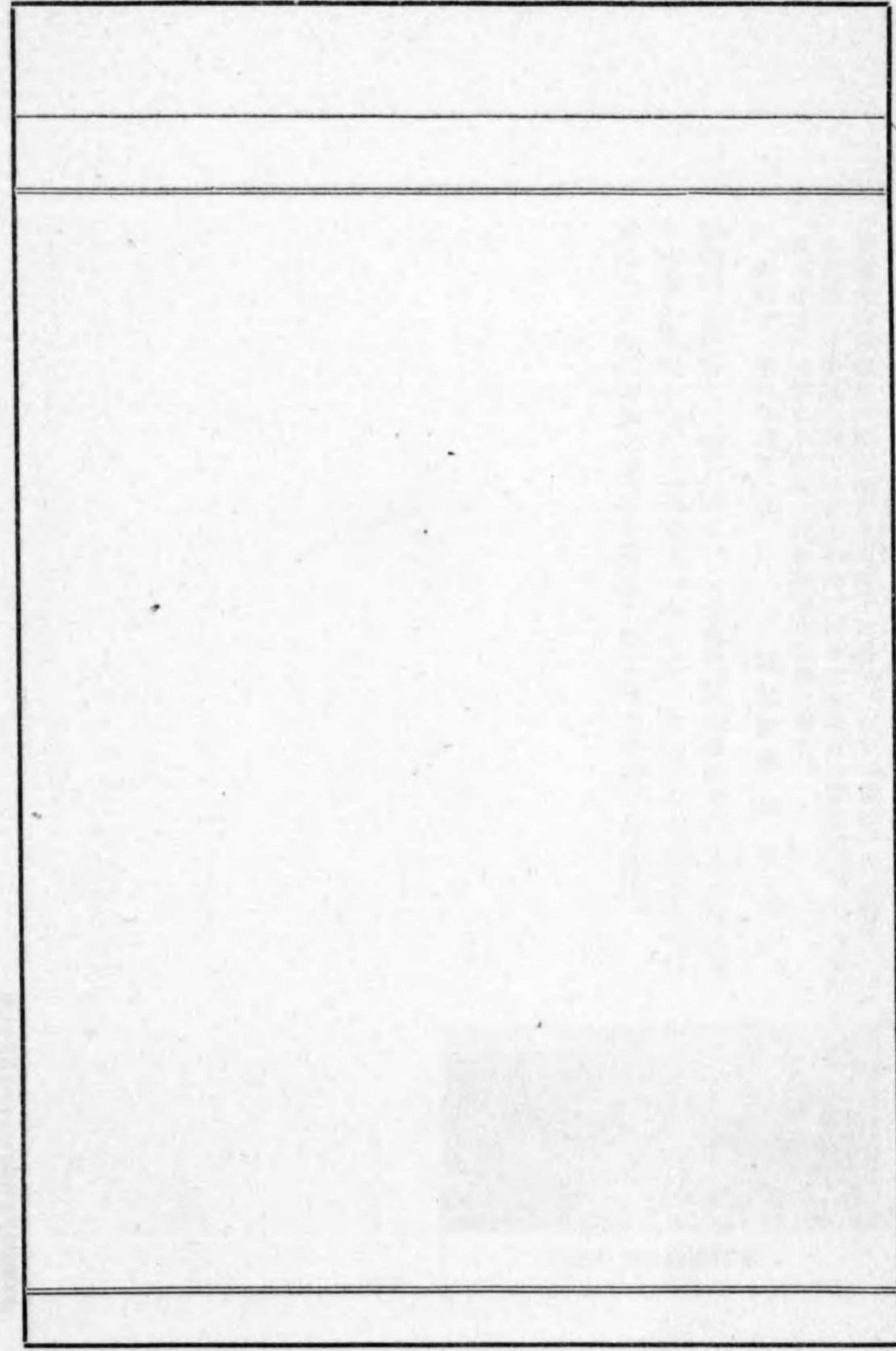


=日八月三場議會市=

昭和十二年三月十三日津輕夏露司今部檢閱演

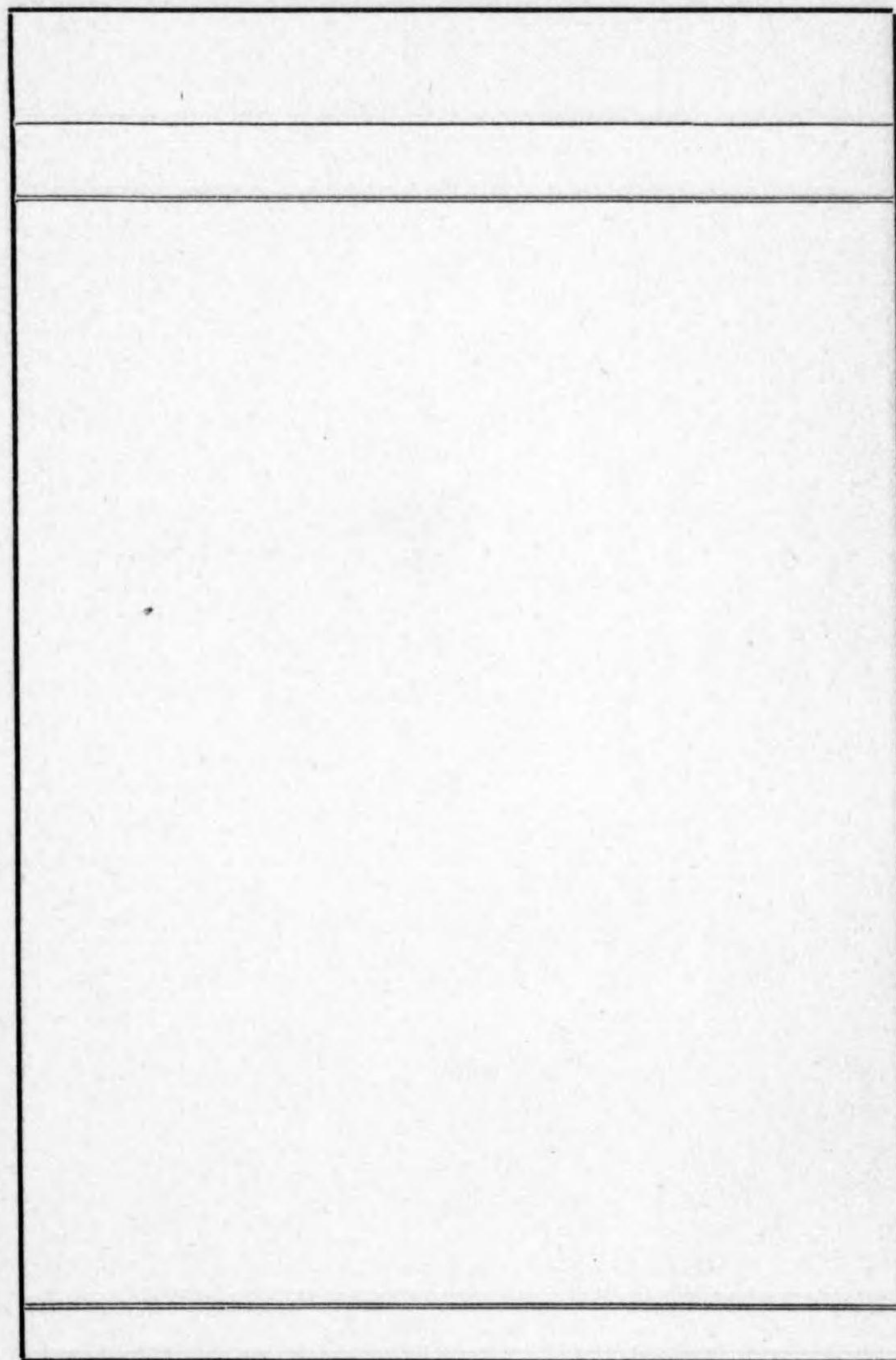


(215)



(214)

引
用
参
考
文
献



引用参考文献

第一類

引用番號	書名	著、編者名
一ノ一	★匏 庵 遺稿	栗本 匏 庵
一ノ二	★竹 塘 武田先生傳	水野 行 敏
一ノ三	★鴻 爪 痕	前 島 密
一ノ四	★代島剛平履歷書及行狀	代 島 チヨ
一ノ五	★ロシヤノイロハ	イワン、マホワ
一ノ六	★新 島 襄先生傳	ゼー、デー、デビス
一ノ七	★新 島 襄	根 岸 橋 三郎
一ノ七ノ二	★我等の同志社(創立六十周年記念誌)	同 志 社
一ノ八	★稿本 柳田藤吉翁經歷談	大久保 湘南 記
一ノ九	★雜 記	伊 藤 鑄之助
一ノ〇	★函 館 夜話 草	淡 齊 如水
一ノ二	★維 新 日誌	静岡縣郷土研究會
一ノ三	★函 館 戦争史料 一輯	高 原 忠 美

★印〓市立函館圖書館所藏
 ◎印〓市立彌生尋常高等小學校所藏

一〇三	★蝦夷地御開拓諸伺書類	和、筆	杉浦誠
一〇四	★明治四年御達留	和、筆	町會
一〇五	★函館人民に學事擴張の主旨を論達する「論書」	和、筆	杉浦誠
一〇六	★學事獎勵委員取扱手續	和、筆	函館支廳學務係
一〇七	★函館學校生徒人員	和、筆	函館支廳
一〇八	★明治九年二月松蔭學校諸費出納明細表	和、筆	松蔭學校
一〇九	★明治九年本使御布達(第二十九)	和、筆	大黒町扱所
一〇〇	★明治九年明治天皇函館行幸記錄	洋、活	彌生學校編
一〇一	★明治十二年大火義捐金品に關する帳簿	和、筆	函館區役所
一〇二	★函館師範學校第一年報	洋、活	函館師範學校
一〇三	★香港大守巡覽日誌	和、筆	函館支廳
一〇四	★小學生徒心得	和、活	函館縣學務課
一〇五	★開拓使事業報告(第一編)	洋、活	開拓使
一〇六	★同	洋、活	同
一〇七	★同附錄布令類聚(上下)	洋、活	同
一〇八	★現行開拓使成規目錄	洋、活	同
一〇九	★區內區私立小學校沿革要覽	和、筆	各小學校

一〇九	★函館縣小學校教則	和、活	函館縣
一〇〇	★明治十六年學事書類綴込	和、筆	函館縣
一〇一	★明治十年本使御布達(第十九號)	和、筆	町會所扱
一〇二	★同(第二十號)	和、筆	同
一〇三	★明治十三年區役所達	和、筆	地藏町外九ヶ町事務所
一〇四	★明治十六年函館縣乙丙號達錄	和、活	函館區役所輯
一〇五	★小隱遺稿	和、活	尾古謙
一〇六	★明治天皇御巡幸記	洋、活	河野常吉
一〇七	★菊池寛次氏文書各種	洋、活	菊池寛三氏藏
一〇八	★明治二十七年區令達	和、筆	區役所
一〇九	★演說書	和、筆	同
一〇〇	★書籍關係書類	和、筆	教育係
一〇一	★石川啄木日記	洋、筆	石川一
一〇二	★親展書類	同	區役所
一〇三	★明治四十三年道廳往復書類	同	同
一〇四	★大正十二年廢校學則綴	同	同
一〇五	★教育令規綴	同	同

一ノ四 ★學務委員關係書類

一ノ四 ★鶴岡尋常小學校移轉擴張に付寄附金募集趣旨書

一ノ四 ★函館略年表

一ノ四 ★函館教育會五十年略年表

一ノ五 ★函館沿革草圖

一ノ五 ★巴港詳景函館の志るべ

一ノ五 ★函館沿革草史

一ノ五 ★函館區史

一ノ五 ★函館市誌

一ノ五 ★函館市是に就て(未定稿)

一ノ五 ★函館市史

一ノ五 ★函館一覽

一ノ五 ★北海史

一ノ五 ★同附錄管轄略譜年表統計表

一ノ五 ★同附錄人名彙

一ノ六 ★北海志(二冊)

一ノ六 ★開拓指鉞北海道通覽

一ノ六 ★北海史年譜

洋、活 函館區役所

洋、活 鶴岡尋常小學校

洋、活 岡田健藏

石、印 函館圖書館刊

洋、活 山本善次

洋、活 福岡竹次郎

洋、活 函館區役所

洋、活 函館日日新聞社

洋、活 函館市役所

洋、活 函館教育會

洋、活 河野常吉編

洋、活 同

洋、活 同

洋、活 開拓使

洋、活 久松義典

洋、活 橋本堯尚

一ノ三 ★北海道旅行記(四卷)

一ノ三 ★北海道史要

一ノ三 ★北方文明史話

一ノ三 ★北海道教育沿革誌

一ノ三 ★北海道教育概要(大正十一年)

一ノ三 ★北海道要覽

一ノ三 ★昭和十年北海道概況

一ノ三 ★モールス先生と平瀬先生

一ノ三 ★ジョン、ミルン博士の生涯並に著書目錄

一ノ三 ★函館植物志

一ノ三 ★函館心學關係資料展觀目錄附函館誠修舍心學資料

一ノ三 ★伏見宮殿下臺覽品目錄及解説

一ノ三 ★函館盲啞院建築報告

一ノ三 ★函館訓育院要覽(第七號)

一ノ三 ★私立函館盲啞院要覽及報告

一ノ三 ★社團法人函館慈惠院沿革史

一ノ三 ★函館の史蹟と名勝

和、活 佐藤喜代吉

洋、活 竹内運平

洋、活 中島峻藏

洋、活 道廳學務課

洋、活 同

洋、活 北海道廳

洋、活 北海道廳

洋、活 北海

洋、活 北海

洋、活 岡田健藏

洋、活 同

洋、活 山本塚本

洋、活 岡田健藏

洋、活 同

洋、活 函館盲啞院

洋、活 函館盲啞院

洋、活 函館盲啞院

洋、活 函館盲啞院

和、活 函館慈惠院

洋、活 函館市

一ノ九七	★天然記念物パンフレット史蹟名勝	洋、活	道廳内務部
一ノ九八	★函館市功勞者小傳	洋、活	函館市
一ノ九八	★第三回キャンピング鹿部海濱學校實施概要	洋、活	函館市
一ノ九八	★函館の健兒(第一輯)	洋、活	函館市
一ノ九八	★開道五十年記念五稜郭内歴史館陳列目錄	洋、活	函館市
一ノ九八	★函館市主催林間學校實施報告(大正三年)	洋、活	函館市
一ノ九八	★札幌神社沿革史要	洋、活	函館市
一ノ九八	★函館八幡宮史話	洋、活	函館市
一ノ九七	★創立七十五年記念函館病院要覽	洋、活	函館市
一ノ九八	★明治教育思想史	洋、活	函館市
一ノ九八	★學制五十年史	洋、活	函館市
一ノ九八	★日本教育史資料(九冊)	洋、活	函館市
一ノ九八	◎教育大辭書(大正七年版)	洋、活	函館市
一ノ九八	◎教育制度(師範大學講座)	洋、活	函館市
一ノ九八	◎小學校教育行政法規精義	洋、活	函館市
一ノ九八	◎高等小學校手工科新指導	洋、活	函館市
一ノ九八	◎普通教育に於ける手工科並に工業科の使命	洋、活	函館市

一ノ九七	◎大日本帝國勅語全集	洋、活	博愛社編
一ノ九七	★讀史備要	洋、活	東大史料編纂所
一ノ九七	★模範最新世界年表	洋、活	三省堂編
一ノ九七	★函館教育會雜誌號外戰捷記念教育及戰利品展覽會誌	洋、活	函館教育會
一ノ九七	★函館縣區小學校沿革史	和、筆	函館區內各小學校
一ノ九七	★函館區(市)學事一覽表(各種)	洋、活	函館區(市)學事係
一ノ九七	★北海道統計學事部(各種)	洋、活	道廳學務課
一ノ九七	★明治六年御達留(第五號)	和、筆	町會所
一ノ九七	★明治六年御觸書並御布告	和、筆	同
一ノ九七	★明治六年三月明治七年三月御觸書並御布告	洋、活	同
一ノ九七	★明治八年御達留	和、筆	同
一ノ九七	★明治八年同布告	和、筆	同
一ノ九七	★明治九年御達留	和、筆	同
一ノ九七	★明治九年御布告	和、筆	同
一ノ九七	★明治十一年御達留	和、筆	同
一ノ九七	★明治十一年御布告	和、筆	同
一ノ九七	★明治十二年御布告	和、筆	同

一ノ二三	★明治十三年御布告	和、筆	町會所
一ノ二三	★明治十三年八月明治十四年十二月函館區役所達	和、筆	同
一ノ二四	★明治十四年御布告	和、筆	同
一ノ二五	★明治十五年函館區役所達	和、筆	同
一ノ二六	★明治十五年布達告示集	和、筆	同
一ノ二七	◎加除自在現行北海道廳學令類纂	洋、活	帝國地方行政學會
一ノ二八	★公園内博物館沿革史	和、筆	
一ノ二九	★北海道開教要記	洋、活	龍山巖雄
一ノ三〇	★北海道東本願寺由來	和、筆	同寺編纂所
一ノ三一	★北海道寺院沿革誌	洋、活	星野和太郎
一ノ三二	★北海道實業教育關係年表(北海道教育一九四)	洋、活	北海道教育會
一ノ三三	★北海道の小學教育沿革(北海道教育一六〇)	洋、活	同
一ノ三四	★北海道教育年表(北海道教育一五八)	洋、活	同
一ノ三五	★函館地方理科學習書(五卷)	洋、活	函館市小學校理科研究會
一ノ三六	★函館市地理讀本(一卷)	洋、活	函館市小學校地理研究會
一ノ三七	★函館市小學校唱歌練習帳(八卷)	洋、活	函館市小學校唱歌研究會
一ノ三六	★博物館陳列品目錄	和、筆	博物館

一ノ二九	◎青年學校關係法令	洋、活	文部省社會教育局
一ノ三〇	◎現行北海道青年學校關係令規	洋、活	北海道出版社編
一ノ三一	★明治三十六年道廳往復文書		函館區
一ノ三二	★明治三十九年道廳往復文書		同
一ノ三三	★函館叢書第一冊「小學校建築の不燃化に就て」	洋、活	岡田健藏
一ノ三四	★陰陽曆對照年表	洋、活	三省堂
一ノ三五	★日本正教傳道誌	洋、活	正教會
一ノ三六	★日本聖公會史	洋、活	日本聖公會
一ノ三七	★皇太子殿下海外御巡遊日誌	洋、活	宮内省
一ノ三八	★鶴駕奉迎錄(明治四十四年)	洋、活	函館區役所
一ノ三九	★鶴駕奉迎錄(大正十一年)	洋、活	函館市役所
一ノ四〇	★皇太子殿下北海道行啓錄	洋、活	北海道廳
一ノ四一	◎函館市兒童保護會聯合會記錄概要	洋、活	保護會聯合會
一ノ四二	★函館市小學校齒科衛生及兒童齒科診療所一覽	洋、活	函館市教育課
一ノ四三	◎魚群躍る北洋の寶庫を探る	洋、活	函館市小學校地理研究部
一ノ四四	★自明治八年至明治十年諸願屆書	和、筆	伊藤鑄之助
一ノ四五	★ベルリ提督日本遠征記(上下)	洋、活	土屋外一名譯

一ノ四	★開拓使日誌(一一七)	和、活	開拓使
一ノ四	★函館郷土史料	洋、活	岡田健藏
一ノ四	★明治四十一年親展文書綴		區役所學事係
一ノ四	★明治四十二年親展文書綴		同
一ノ五	★明治四十年公文書綴		同
一ノ五	★休明光記	和、寫	羽太正養
一ノ五	社団法人函館市小學校教員互助會書類		教育互助會
一ノ五	★函館稅關沿革史	洋、活	橫濱稅關
一ノ五	★函館縣衛生年報	和、活	函館縣衛生課
一ノ五	★函館中教院神事の記	和、筆	堀秀成
一ノ五	★財團法人橋本育英會寄附行爲及育英資金取扱細則	洋、活	同
一ノ五	★大百科事典 16	洋、活	平凡社
一ノ五	函館彰善館開館記念誌(寺井氏藏)	洋、活	齋藤哲郎
一ノ五	★函館大火災害誌	洋、活	池田清
一ノ六	★函館圖書館第一年報	洋、活	函館圖書館編

第二類

二ノ一	★公立幸尋常小學校沿革史資料	二ノ六	★公立中島尋常高等小學校要覽
二ノ二	★公立常盤尋常小學校沿革史資料	二ノ九	★公立萬年橋尋常小學校一覽
二ノ三	★公立彌生女子尋常小學校沿革誌	二ノ〇	★公立柏野尋常小學校學校經營要覽
二ノ四	★創立滿五十年記念公立彌生尋常高等小學校沿革誌	二ノ三	★公立高砂尋常夜學校沿革史要覽
二ノ五	★公立汐見尋常高等小學校經營概要	二ノ三	★公立大森尋常夜學校沿革概要並ニ學校經營案及學則
二ノ六	★公立谷地頭尋常小學校沿革誌	二ノ三	公立若松尋常高等小學校學校日誌
二ノ七	★創立滿五十年記念公立寶尋常高等小學校沿革誌	二ノ四	★私立鶴岡尋常小學校沿革史
二ノ八	★公立第二東川尋常小學校一覽	二ノ五	★公立住吉尋常小學校沿革史資料
二ノ九	★創立五十年記念公立東川尋常小學校一覽	二ノ六	★廳立函館師範學校一覽
二ノ〇	★公立函館女子高等小學校一覽	二ノ六	★廳立函館中學校一覽
二ノ二	★公立高砂尋常小學校沿革誌要覽	二ノ三	★學叢(創立四十周年記念)
二ノ三	★公立新川尋常高等小學校要覽	二ノ三	★廳立函館商業學校沿革史(創立四十年記念)
二ノ三	★公立松風尋常小學校要覽	二ノ三	★廳立函館工業學校一覽
二ノ四	★公立若松尋常高等小學校一覽	二ノ三	★廳立函館高等女學校一覽
二ノ五	★公立巴尋常高等小學校沿革大要	二ノ三	★創立三十周年記念誌(廳立高女)
二ノ六	★公立大森尋常高等小學校一覽	二ノ三	★私立遺愛女學校一覽
二ノ七	★公立千代ヶ岱尋常小學校要覽	二ノ六	★私立遺愛女學校五十年畧史

索

引

(五十音順)

四ノ三

★函

館

評

論

四ノ三

★函

館

市

公

報

函 函

館

評 館

論

社 市

第一部	挿繪
第二部	人名
第三部	學校、私塾
第四部	其他雜

第一部 挿繪索引

ア之部	青柳小學校	三〇三	★エルドリツヂ	三	★龜田小學校	四
イ之部	★アンデレス	七	オ之部	一〇	★假博物場	四
	★醫學所内御座所	四	★小藤幸一郎	一四	カロライン、ライト	四
	★石川啄木	一〇	大谷女學校	一四	韓國皇太子殿下記念花瓶	二
	★一貫小學校	一〇	大谷幼稚園	一六	キ之部	二
	★伊藤鑄之助	三	大妻技藝學校	一七	吉祥女學校	二
	伊能忠敬	二	大森小學校	一五	行啓記念植樹	二
★今井市右衛門	ウ之部	六	カ之部	一五	★舊土人學校生徒	二
★内淵學校	エ之部	三	★高等女學校	一〇	★近世醫說	三
	同	三	★同	一〇	ク之部	三
	★同	三	★同	一〇	★栗本苑庵	四
A 校	ニ之部	七	高等水産學校	一六	★黒田清隆	三
★英國領事館前奉迎門	三	三	柏野小學校	一六	★會所學校生徒	三
★エドワート、エス、モールス	三	三	家政女學校	一六	コ之部	三
	三	三	家庭寮	一六	公園	四
					工業學校	四

★市立函館圖書館藏原書

★ハアバア(ルードウイヒ)	七	フ之部	マリ、オネジム	三
★ハアバア(フリッツ)	一五	附屬小學校(第二)	萬年橋小學校	一六
★博物館(第三館)	六	附屬小學校(第一)	メ之部	一七
★函館幼稚園	七	★プレキストン	明華裁縫女學校	一八
函館幼稚園(愛國婦人會)	二〇	へ之部	明治九年御巡幸 行在之地記念碑	一九
函館裁縫女學校	三〇	★ペルリ應接の圖	★明治天皇三蹤記念碑	二〇
★函館の小學生(第一號)	一四	ホ之部	★明治天皇三蹤碑蔭勅書	二一
橋本金太郎	一九	北鳳丸	モ之部	二二
★羽太正養	二	北海裁縫女學校	★盲啞院	二三
ハリス	六	★北海道學事新報(第一號)	★同	二四
ヒ之部		★堀川商業學校	★元町女子小學校生徒	二五
B 校	三〇	マ之部	茂邊地代用附屬校	二六
★東川小學校	八	★マキシモヅイチ	ヤ之部	二七
★同	一三	★横山淳道	谷地頭運動場	二八
★東久世通禧	六	★松蔭學校	谷地頭小學校	二九
★平塚時藏	一四	松風小學校	★柳田藤吉	三〇
★平田文右衛門	三	的場小學校	★山田邦彦	三一

山田裁縫女學校	一五	★ロシヤノイロハ	牛之部	三〇
★彌生學校(開校當時)	五	ワ之部	遺愛幼稚園	三一
彌生小學校	五	若松小學校	★遺愛女學校	三二
同	一〇	若山保平	遺愛女學校	三三
彌生女子小學校	一五	★和田喜八郎	遺愛女學校寄宿舎	三四
リ之部		★渡邊熊四郎(初代)	ヲ之部	三五
林間學校(教育會)	一四	★同(二代目)	★岡田健藏パンフレット	三六
★林間學校(市)	一〇	★同(三代目)		
口之部		★和魯通言比考		
ア之部		阿部重遠	イ之部	三六
秋尾 浩	一八	アール、パンペリー	五十嵐 治太郎	三七
淺井庄八	二四、二六、三三	アル、フラケット	池田市太郎	三八
アーサー、グレイ	三	有田 法宗	池田 忠男	三九
淺田清次郎	四	栗屋新三郎	イ、ゴスケウイツチ	四〇
足利宗 淳	九	青木宗一	石川小十郎	四一

石川 漲	壹	今井市右衛門	三、六	榎本釜次郎(武揚)	一七、七
石川 啄木(一)	一〇、一八	伊豫田 徳次郎	一六	蛸子末次郎	三
石川 節	一〇六	イワン、デミトリ	一五	エリザベス、パスコル	一五
石澤末次郎	一元	ウ之部	一四、一五	オ之部	一五
磯村良廉	三三	上野 清	八	小川鏡三郎	三
泉 藤兵衛	七	ウオルター、アンデレス	七	小川幸兵衛	七
伊藤鑄之助	三〇、三三、三三	内海十三郎	九、一七	沖田藤助	五〇、五一
伊藤泰信	八	ウツド、ウオース	五	興村忠兵衛	三三、八七
伊藤祐寛	六	上田武右衛門	六	小熊幸一郎	一八三、一八
伊藤博文	一〇九	上田 大法	七	奥山 寛	三〇
稻垣利作	一〇六	ウキ、サリロン、ザルトフ	四	尾古謙藏	五
稲田達雄	一六	ウキリアム	三	大石三平	一四〇
伊能忠敬	二	ウキリアム、ブレーク	六	大石トク	七、一九
井上 勝	三	エ之部	三	大條 晋	一七三
岩城定二	三二	エーサー、グレー	三	大木喬任	四
岩谷英太郎	五	エトワード、エス、モールス	三、六	大久保キヨ	一六

大島長三郎	四	葛目 成業	三	菊地祐章	四
大野六兵衛	六	金岩捨次郎	六	菊地周助	一六
大庭俊太郎	六	金澤彌惣兵衛	六	木村英俊	一七
大場律平	三、五	金井國三	四	夕之部	一七
大場源七郎	一三	叶内庄次郎	三三	久慈柳治	一六、一七
大松澤ミネ	七、七	川田圭三	三、七、八、八	工藤彌兵衛	三、七
大平 靈明	一八	川村文平	一八〇	工藤虎五郎	七〇、八四、九〇 一三八、四〇
大村 勵	九	蒲生武彦	一六	桑門志道	四
大矢佐市	三	神谷みち	五、五	桑高賢牛	一八〇
恩賀徳之助	三二	龜井惣十郎	三	栗栖仲治	一六〇、一五
カ之部	二	カール、ヨハン、マキシモヴィチ	五	栗本徳庵	四
河野政通	二	カライン、ライト	四	厨川ツル	九
河野季通	二	カロリン	三	黒金泰義	一六
河野常吉	二	キ之部	三	黒住成章	一四、一五
神山和雄	四、六	木内 幹	一八	黒田清隆	二二、五、七
笠原與七郎	三、八	菊地治郎右衛門	三、六	コ之部	二
片桐讓之	七	菊池寛次	五、三	小島松右衛門	二

齋藤又右衛門	齋藤與一郎	齋藤忠助	齋藤和吉	西郷從道	近藤重藏	サ之部	小山リキ	小林重吉	小濱松次郎	小幡ミツ	小橋榮太郎	小西雄次郎	小寺義雄	五島顯徳	五島千穎	
一四二	七三、三七一、四〇 一四九、一五〇、一六一 一四八、一六七、一七 一九、一九九	三	五	五	一四		四	三、六、二五、二六 一四七	一七	一三〇	九	一四	六	五、六、七、九	三	
齋藤如空	相馬直之助	相馬哲平	坂本森一	坂本千代子	酒井伊左衛門	櫻田義英	櫻井春代	佐々茂雄	佐々木右衛門	佐々木完太郎	佐々木平次郎	笹森萬七	佐藤三左衛門	佐藤精三	佐藤市彌	佐藤傳藏
一四	七	一五	一八、一八二 一八、一八八	一六	二	一六、二〇	四	一九	三、四	二六、二五、二六	一四、一五	一四、一八	一〇	八、八七、一〇三	一八、一八四、一八 一九、一九五	一三
佐藤充雄	佐藤孝三郎	佐藤在寛(政治郎)	佐野東造	ザルトフ	澤清司	澤田重吉	三條實美	山東直砥(一郎)	シ之部	信濃助治	信濃俊一	篠崎清治	澁田利右衛門	澁谷金次郎	鹽田順庵	島義勇
一五、一六	一五、一六、一六五 一六、一六九	一五	二	四、六	四	三〇、三一	七	七	一〇三	一八五	一九	一三、一四、一三	一七、一三	一四	八	

島貫政治	清水谷公考	下河原清	ジョン、ミルン	素木岫雲	新谷八郎衛門	ス之部	菅野白華	須川長之助	菅村純之	杉浦誠	杉浦嘉七	杉野源次郎	杉村タミ	杉山金左衛門	鈴木陸次	鈴木源二郎
一五、一八	一七、一八	一四、一四、一八	三〇、一六	六、三、五	五		四	五	一八	二〇、二二、二四 二五、二六、二九	二、三、三 七、八	三	九	〇	〇	九、二五
鈴木巖	スチャルド、エルドリツヂ	末弘直方	セ之部	清野鐵之助	關重孝	セポリ	ソ之部	園田實徳	ゾル	タ之部	代島剛平	高桑九藏(九平)	高田屋嘉兵衛	高野誠兵衛	高橋文之助	瀧澤一馬
一七	三	五		一五	一四	六	七	七	一五	九	元	七	一四、一三	三	七	一六、一七
瀧野ハツ	武田斐三郎成章	武田安之助	竹内下野守保徳	竹内與兵衛	竹内金作	竹中賢恵	田崎秀親	橋耕齋	龍岡信熊	田中正右衛門	谷山祐寛	種田直右衛門	田村胤次郎	千重吉	千葉重吉	ツ之部
一〇	三	九、一三	三	一九	一四	一七	三	三	六	元	一七	六	一五、一六	天		

塚本角次郎	一四	仲	榮助	元	ネ之部
辻 信藏	三九、四四	中川五郎治	一四	ネトルシツブ	六
土屋金次	五	中野嘉八郎	一四	ハ之部	
續 豊治	一四	中橋徳五郎	一五	橋本文壽	一五
常野正義	四、七〇	中村 豊	一五	橋本敬三	一五
角田奇山	一四	中山信成	四〇	橋本金太郎	一七
テ之部		仲山與七	八七、一〇三	長谷川孝吾	三、七、九
寺井四郎兵衛	八七、一一、三四	長尾 含	一七、四	長谷川千代喜	四
ト之部		長岡清三郎	一六	長谷川次潔	七、九
戸川筑前守安倫	二、三	鍋島直正	六	長谷部よね	一四
時任爲基	四〇、四九	名村五八郎	五	秦權丸(村上島之丞)	一八
十津川五山	三〇	ニ之部		畠山仁市郎	一八
トーマス、ライト、プレキストン	一五、三〇	新島 襄	六	畑野仁平治	三
富原九一郎	六	西川晚翠	三、四	パチラ	三
外山ハツ	一五〇、八三	西澤彌惣兵衛	一六	八田三郎	一三
虎石惠實	一四七	西村貞陽	三〇	花田コノ	一六
ナ之部		西岡實太	一四、一五	羽田多吉	一七、一〇一、一〇四

馬場三郎	二三	平出喜三郎(三代目)	一五	逸見ミヨ	一七、一四
羽太安藝守正養	二、三	フ之部		ペーエン女史	七
濱崎よ志	一六	福岡孝悌	四	ペルリ	三
濱野清太郎	三	福田久治	五	ホ之部	
早川キセ	八	福士宇之吉(成豊)	六	北條玉洞(盛英)	五、六
林 宇三郎	七	福岡勇藏	七	北守政直	一〇、一三
林 悦郎	七、八	藤澤誠太	一五、一六、一七	穂波秀五郎	五
早瀬イト	一五	プーチャチン	三	ホーラン、ケブロン	二
原直三郎	三	藤生三郎二	一六	堀 利熙	三
ヒ之部		藤本初吉	六、九	堀 辰之助	三
東久世通禧	一八、三	藤井源三郎	二	堀 秀成	四
樋口龜三郎	五	フリッツ、ハアバア	一五	堀 基	五
平瀬與一郎	一六	古川源吉	四	堀内權三郎	二
平田兵五郎(文右衛門)	三、七	古川藤左衛門	五	堀川乘經	四
平塚時藏	三、三	古川古松軒	一六	堀川道藏	三、四、五、一〇
平塚常次郎	三〇	古澤住伊	一六	ポール、ヘンネツシー	四〇
平出喜三郎(二代目)	七	プレキストン	一五、三〇		

安田 力 二七
 矢田部良吉 二七
 柳田藤吉 一七、三〇
 山尾庸三 三三
 山縣有明 一四
 山口房次郎 一五
 山崎光雄 一六
 山崎善太郎 一五
 山田竹次郎 一六
 山田邦彦 九七、一〇一
 山田文太郎 一三
 山田ソヨ 一四
 山田たけ 一六
 山本タケ 一八
 山本巖龜 一八
 彌吉茂樹 一八
 ユ之部 一八

ユースデン 四三、四四
 ユースデン夫人 四三
 湯本倉之助 一三
 ヨ之部 一三
 横山松三郎 三三
 吉崎豊作 三三、三六
 吉田元利 一六
 吉水定穩 一六
 吉岡熊雄 一六、一七、一八、一九
 四倉ミツ 一七
 米木權左衛門 一六
 ラ之部 一六
 ライ ス 一四
 ラッセル 一四
 ル之部 一四
 ルードウイヒ、ハアバア 一七
 ルードルフ 一七

レ之部 三三
 レーマン 三三
 ワ之部 三三
 ワイヤ 三三
 若山保平 三三、四
 和田圓什 三三
 和田喜八郎 一三、一六、一三三
 ワドマン 一六
 渡邊 一六
 渡邊 廉 一六
 渡邊熊四郎(初) 三三、三六、四六、七一
 渡邊孝平(初) 一七
 渡邊熊四郎(二代目) 一七、一八、一九、二〇
 渡邊熊四郎(三代目) 一八、一九、二〇、二一、二二、二三

レ之部 三三
 ワ之部 三三
 ワイヤ 三三
 若山保平 三三、四
 和田圓什 三三
 和田喜八郎 一三、一六、一三三
 ワドマン 一六
 渡邊 一六
 渡邊 廉 一六
 渡邊熊四郎(初) 三三、三六、四六、七一
 渡邊孝平(初) 一七
 渡邊熊四郎(二代目) 一七、一八、一九、二〇
 渡邊熊四郎(三代目) 一八、一九、二〇、二一、二二、二三

岡田普理衛 一八
 猪狩晋介 一八
 牛之部 一八
 ヲ之部 一八

本多正雄 八〇
 マ之部 八〇
 マイライネ、ドレーパー 八〇
 牧野伸顯 九
 横山淳道 一九、二〇
 益田孝 一五
 松方正義 一五
 松木茂俊 九
 松代伊兵衛 一三、一四
 松下熊槌 一五
 松田たつ 一五
 松平信濃守忠明 二
 松原秀夫 一六
 前島密 一三
 松前章廣 一三
 松丸乙近 一八
 前田淨一 一八

松山伯一 一三
 マリア、ヨセフ、レミユ 一六
 マリ、オネジム 一五
 マリ、オグスト 一五
 ミ之部 一五
 三浦三郎 一五
 三上八十八 一五
 三坂亥吉 一三、一三、一三、一三
 ミス、デカルソン 一四
 ミス、ワグナー 一五
 三田 信 一五
 ミヒヤエル、アルブレヒト 一四
 宮路助三郎 一六
 宮森正三郎 一四
 ム之部 一四
 武藤ヤチ 一六、一七
 宗像敏英 一八、一九、二〇、二一

モ之部 一〇三
 最上徳内 一四
 茂木錠二郎 一六、一六
 森 菊三郎 一三
 森 梅太郎 一三
 森 小市 一四、一四
 森 萬藏 一三
 モロ 一三
 ヤ之部 一三

村田駒吉 一三
 村田甲子郎 一六
 村尾元長 一四
 村尾東作(嘯山) 一四
 村尾元矩(嘯山) 一四
 村岡素一郎 一四
 メ之部 一四
 名井勝次郎 一〇三
 モ之部 一〇三
 最上徳内 一四
 茂木錠二郎 一六、一六
 森 菊三郎 一三
 森 梅太郎 一三
 森 小市 一四、一四
 森 萬藏 一三
 モロ 一三
 ヤ之部 一三

村田駒吉 一三
 村田甲子郎 一六
 村尾元長 一四
 村尾東作(嘯山) 一四
 村尾元矩(嘯山) 一四
 村岡素一郎 一四
 メ之部 一四
 名井勝次郎 一〇三
 モ之部 一〇三
 最上徳内 一四
 茂木錠二郎 一六、一六
 森 菊三郎 一三
 森 梅太郎 一三
 森 小市 一四、一四
 森 萬藏 一三
 モロ 一三
 ヤ之部 一三

岡田健藏 一〇二、一四、四八
 一七五、一六、一五
 一七
 小川幸兵衛 七
 尾古謙藏 一四、一三
 一八、一〇
 八七
 小田四十一 一八
 小野菊三郎 六

第三部 學校、私塾

注意 年表に收載せる學校、私塾を擧げたるも、名詞の上部に冠せる「函館」の文字は省略し得るものを除きたり。

ア之部
 愛育學校 六
 愛育分校 六
 愛憐小學校 六
 青柳小學校 三〇三、三〇八、三〇九
 旭小學校 一五五、一五七
 一六九、一七三
 淺井學校 九
 イ之部
 有隣小學校 三
 醫學所 一四、一七、一九、三〇
 三〇、三六、四一、四三
 四四、四七、四九
 一貫堂 三三、三〇
 一貫學校 五三、六〇、六三
 一〇八、一〇九
 一貫商業補習學校 九
 ウ之部
 内潤學校 三三、三三、三三
 三六、三六、四一
 エ之部
 A 校 三〇〇、三〇九、三一
 英語學校 一八〇、三〇四
 英語速成學校 六
 英和夜學校 六
 オ之部
 鷗春裁縫女學校 一八〇、三〇四
 大石裁縫女學校 七
 大谷女學校 一一一、一三〇、一三三
 一四〇、一四一、一四三
 一四四、一四九、一六
 大谷幼稚園 一七五、一八〇、一八
 大谷幼稚園(第二) 三〇

大妻技藝學校 一五〇、一五二
 一七三、一八三
 大妻女子高等技藝學校 一八三、一八五
 大庭學舎 六一
 大森小學校 一五三、一五四、一五五
 一八九、二〇三
 大森小學校 三二
 大森尋常夜學校 一六六、一八三
 一八五、一九〇
 カ之部
 開北學舎 六
 開有學校 三、六
 海員數學教授所 五
 郷學塾 三〇、三二
 高等水産學校 一六九、一七三、一八〇
 一九二、二〇四
 高等女學校 八五、八九、九三、九七
 九八、一〇〇、一〇三
 一〇三、一〇六、一三四
 一三七、一四一、一五
 學園塾 一七五、一六、一五
 一六
 柏野小學校 一六四、六
 一七〇、一七
 家政女學校 一七
 家庭寮 一九、三三
 釜谷海濱學校 一六
 龜田學校 三三、四〇、四三
 四八、四
 龜田小學校 六、六、一〇〇、四
 龜田小學校 一六
 簡易厚德分校 七
 監獄學校 三
 キ之部
 舊土人學校(アイヌ學校) 六、七
 舊土人學校附屬育兒院 八
 吉祥女學校 七〇、七三、八六
 一〇八、一三六
 行餘學校 三三、四一
 金蘭學校 三三、四一
 ク之部
 厨川裁縫女學校 九
 繪畫私塾 三
 繪畫專門學校 六
 會所學校 六
 皇漢英學講習所 三三、三〇、三三
 三三、三三、三六
 皇漢英學講習所 三
 臥牛學校 四
 訓育院 一五、一六、一三三
 一三四、四九、一五〇
 訓育會 八、九〇
 九〇、一五
 ケ之部
 惠以小學校 七、七、一〇一
 一〇一、一〇、一七
 教員講習所 三
 コ之部 三

工業學校	一五、四〇、一四三	札幌師範學校	三	師範學校	二五、二六、二七
工業補習學校	一四、一四、一七	澤學私塾	四	師範附屬小學校	二〇、二二、二四
工業補習青年訓練所	一一、二二、三三	算學私塾	六	師範學校附代用校	一四、一五、一六
五稜郭幼稚園	一三、三三、四〇	シ之部	二〇、二〇	屬小學校	一四、一五、一六
廣穎分校	一四、一六	鹿部海濱學校	一六〇	沙見小學校	一三、一八、二〇
五島學舎	一五、一六	慈惠院附屬大森小學校	一五、一六	商業學校	一六、一六
サ之部	一五、一六	慈善學校	一四	商業學校	一六、一六
濟生學校	一五	實修女子青年學校	一四	商業學校	一六、一六
幸小學校	五、五、六、八、八	執將家塾	一四	商業補習學校	一六、一六
幸小學校出張所	八、八、九、九、一〇	實踐女學校	一四	商業補習青年訓練所	一六、一六
幸小學校寒川特別教授所	一〇、一〇、一〇	師範學校	一四	商工實修學校	一六、一六
裁縫女學校	一〇、一〇、一〇	師範附屬小學校	一四	商工實修學校商業部	一六、一六
裁縫專門女學校	一〇、一〇、一〇	師範學校附幼稚園	一四	商工實修學校工業部	一六、一六
櫻井裁縫女學校	一〇、一〇、一〇				

商工實修學校女子商業部	一八〇	新川小學校	一四、一六、一五	青年學校	一九
商工實修學校(彌生豫科)分教場	一八〇	進德裁縫女學校	一六、一八、二〇	濟美學舎	一五
商工青年學校	一九、二〇	入之部	一六、一八、二〇	濟美學校	一五
商工青年學校工業部	一九	末廣小學校	一六、一八、二〇	聖保祿女學校	一五、一七、一〇
商工青年學校商業部	一九	住吉學校	一六、一八、二〇	西洋洗濯傳習所	一五、一七、一〇
商船學校	一八、四〇、四一、四二			靖和女學校	一七、一七、一〇、一〇
昌平校	一八	住吉青年訓練所	一五、一七、一八	小學教科傳習所	一八、一八、一〇、一〇
淑德裁縫女學校	二〇	七之部	一五、一七、一八	嘯山私塾	一八、一八、一〇、一〇
淳風夜學校	二〇	正教女學校	一五、一七、一八	昭和技藝學校	一八、一八、一〇、一〇
松榮講	二〇	正教會裁縫女學校	一五、一七、一八	仙北裁縫女學校	一八、一八、一〇、一〇
松濤學校	二〇	精華學校	一五、一七、一八	夕之部	一八、一八、一〇、一〇
諸術調所	二〇	精華塾	一五、一七、一八	第一公立女學校	一八、一八、一〇、一〇
庶民夜學校	二〇	誠終舎	一五、一七、一八	第一尋常夜學校	一八、一八、一〇、一〇
		青年訓練所	一五、一七、一八	大正高等裁縫女學校	一八、一八、一〇、一〇
				第二東川小學校	一八、一八、一〇、一〇

第二尋常夜學校 一六
 高桑裁縫館 一四〇
 高砂學校 五、五、五、六、三
 七、八、三、八、四、八、六
 九、三、九、四、九、六
 一〇、三、一、八、一、三、三
 一三、一、四、一、八、九
 二二
 高砂女子實業補習學校 一五七、一五八、一六七
 一五七、一五八、一六七
 高砂尋常夜學校 一六八、一六九、一七〇
 一六八、一六九、一七〇
 高盛小學校 二〇三、二一〇
 二〇三、二一〇
 實學校 三、四、四、四、四、三
 四、四、四、四、四、三
 五、五、七、八、四、八、六
 九、四、一、〇、一、〇、四
 一〇、五、一、〇、八、二、八
 一六、九、一、八、九、三、二
 九七、一〇三、一一一
 寶補習夜學校 一五九、一五九
 寶青年訓練所 一九九
 寶青年學校 一九九
 子之部
 巴裁縫女學校 四
 巴小學校 一四一、一四三、一四三
 一五〇、一七四
 巴青年訓練所 一五九、一七九、一八三
 一九九
 巴青年學校 一九九
 豐川小學校 六〇、六七
 豐川夜學校 七四
 ナ之部
 中島小學校 一八四、一八五、一八六
 一八八、一九九
 七重學校 四
 二之部 四
 日新堂 六
 ハ之部 三
 函館英語學校 七、六、六、七〇
 函館英語學校 八、六、九
 函館英語學校 五、六、六
 函館幼稚園 五、六、六
 女紅場 五、四、四、一、四三
 女紅場支場 五、三、六、四一
 女子小學校 (五、七、八、一〇、一〇〇
 一〇三、一〇七、一〇
 一七〇、一七三、一七四
 一七五、一八九、二〇〇
 女子職業學校 一三四、一八七
 一八八、二〇六
 女子商業夜學校 一四八
 女子高等實業補習學校 一四九、一五三
 女子商業學院 一五、一五、一七
 女子中等夜學校 一四七、一四
 千代ヶ倍小學校 一六、一七、一八
 一六、一七、一八
 一六、一七、一八
 一六、一七、一八
 中學校(尋常) 八〇、八二、八三、八五
 九
 中學校 六、九、九、一〇、一三
 一五、一七、一五
 中等夜學校 一四六、一五九
 中等夜學校青年訓練所 一五九
 函館幼稚園 六、七、七、八五
 函館幼稚園 九、一〇、一三、一五
 一八五
 函館幼稚園(愛國婦人會) 一八五、一九〇、二〇
 函館學校 二、三、三、三
 函館學校 三、三、三、三
 函館學校 三、三、三、三
 函館學校 三、三、三、三
 函館附屬夜學校 六、九、七
 函館裁縫女學校 八、九、一〇、一三、一三〇
 函館數學舍 五、五、五、五(五)
 函館女學校 五、五、五、五
 函館女學校 六、七、七、七
 函館女學校 六、七、七、七
 函館夜學校 四
 函館夜學校 七
 函館露語學校 六、六、六
 濱野小學校 六、七、三
 早川裁縫女學校 八
 B 校 三〇三、三〇四、三〇五
 三〇六、三一一
 東川學校 五〇、五一、五三、六三
 七三、八二、八三、八三
 八四、八六、八九、九三
 九四、一〇一、一〇三
 一一一、一一三、一一三
 一一三、一一四、一四三
 一八九、二二
 フ之部 三
 福音會英語夜學校 四、五
 福田學校 五〇、五
 婦人職業學校 八〇
 双葉裁縫女學校 一七
 双葉和洋裁縫女學校 一六〇
 藤村堂 三
 藤村學校 一三、四、五
 五、五、五

第一尋常夜學校 一六
 高桑裁縫館 一四〇
 高砂學校 五、五、五、六、三
 七、八、三、八、四、八、六
 九、三、九、四、九、六
 一〇、三、一、八、一、三、三
 一三、一、四、一、八、九
 二二
 高砂女子實業補習學校 一五七、一五八、一六七
 一五七、一五八、一六七
 高砂尋常夜學校 一六八、一六九、一七〇
 一六八、一六九、一七〇
 高盛小學校 二〇三、二一〇
 二〇三、二一〇
 實學校 三、四、四、四、四、三
 四、四、四、四、四、三
 五、五、七、八、四、八、六
 九、四、一、〇、一、〇、四
 一〇、五、一、〇、八、二、八
 一六、九、一、八、九、三、二
 九七、一〇三、一一一
 寶補習夜學校 一五九、一五九
 寶青年訓練所 一九九
 寶青年學校 一九九
 子之部
 女紅場 五、四、四、一、四三
 女紅場支場 五、三、六、四一
 女子小學校 (五、七、八、一〇、一〇〇
 一〇三、一〇七、一〇
 一七〇、一七三、一七四
 一七五、一八九、二〇〇
 女子職業學校 一三四、一八七
 一八八、二〇六
 女子商業夜學校 一四八
 女子高等實業補習學校 一四九、一五三
 女子商業學院 一五、一五、一七
 女子中等夜學校 一四七、一四
 千代ヶ倍小學校 一六、一七、一八
 一六、一七、一八
 一六、一七、一八
 一六、一七、一八
 中學校(尋常) 八〇、八二、八三、八五
 九
 中學校 六、九、九、一〇、一三
 一五、一七、一五
 中等夜學校 一四六、一五九
 中等夜學校青年訓練所 一五九
 函館幼稚園 六、七、七、八五
 函館幼稚園 九、一〇、一三、一五
 一八五
 函館幼稚園(愛國婦人會) 一八五、一九〇、二〇
 函館學校 二、三、三、三
 函館學校 三、三、三、三
 函館學校 三、三、三、三
 函館學校 三、三、三、三
 函館附屬夜學校 六、九、七
 函館裁縫女學校 八、九、一〇、一三、一三〇
 函館數學舍 五、五、五、五(五)
 函館女學校 五、五、五、五
 函館女學校 六、七、七、七
 函館女學校 六、七、七、七
 函館夜學校 四
 函館夜學校 七
 函館露語學校 六、六、六
 濱野小學校 六、七、三
 辻學校 四、八、五
 鶴岡學校 三、三、三、四、四、五
 五〇、五、五、七、六〇
 七、八、三、八、五、八、六
 八、七、八、八、一〇〇
 一〇八、一一八、一一九
 一四、一七、一七三
 テ之部 一四三
 通信講習所 一四三
 ト之部 八〇
 東京數學院函館數學舍 八〇
 分 一三〇、一三
 東洋裁縫女學校 一三〇、一三
 常盤學校 三、四、四、二
 常盤小學校 一四
 フミニコ幼稚園 一六
 富岡學校 六、七、六
 巴學校 六、六、六
 巴幼稚園 一八、一六〇

古川學校 五〇、一〇
 古川小學校分校 五
 へ之部
 變則中學校 五、六
 變則中學 四
 辨天學校 三、四
 木之部
 簿記傳習所 六
 北鳴裁縫女學校 一〇三
 北門社新塾 一七、二〇
 北海義塾 六、七、七〇
 北海裁縫女學校 九三、一〇一、一三三、一四〇
 北海道師範學校 三
 北海道函館分校 四
 北海道師範學校函館分校 五
 北海道尋常師範學校 四
 北海道師範學校 四

堀川小學校 六、七、八、一〇三
 堀川商業學校 一〇四、一一、一二
 堀川裁縫女學校 五、一〇三
 マ之部
 盲啞院 八、一五、一三三、一三二、一五一
 松蔭學校 二六、二七、二八
 松蔭學校 元、三〇、三一、三二、三三、三四
 松風小學校 一七、三六、二九
 松風青年訓練所 一五九、一九九
 松風青年學校 一九九、二〇五
 松森裁縫女學校 一六〇、一九〇
 的場小學校 三〇
 丸井青年訓練所 一八、一九
 丸井青年學校 一九
 萬年橋小學校 一六三、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七

三島技藝學校 一六九、一七〇、一八〇
 村田小學校 六
 ム之部
 明華裁縫女學校 一七
 明教分校 三
 毛之部
 元町學校 元、三〇
 元町女子小學校 八五、八九、一〇三
 茂邊地小學校 一九
 森學校 四三、五〇
 ヤ之部
 谷地頭小學校 一四六、一四八、一五〇、一五四
 山田裁縫女學校 一四三、一九〇
 彌生學校 四六、五〇、五一、五三、五八、五九、六六、六九、七二、八一

彌生小學校實分校 六、七
 彌生商工補習學校 一七、一八、一六
 彌生青年訓練所 一九、一九
 彌生青年學校 一九
 彌生女子小學校 一四九、一五〇、一五一、一五二、一六九、一七四
 ラ之部
 ラツセル英語學校 九

ア之部
 愛國少年團 一八二
 愛陶舍 三
 アイヌ文化展覽會 一八六

リ之部
 林間學校(教) 一四
 林間學校(市) 一六〇
 ロ之部
 露學學校 三三、三六
 六和女學校 六、九、七、七三、七五、九、九三
 露語研究所 三三、八三
 ワ之部
 若松小學校 九四、九五、一〇三、一〇五、二〇八、二一〇、二一七

ミ之部
 若松青年訓練所 一五九、一九九
 若松青年學校 一九
 若山堂 一三、三〇
 若山學校 四八、四九、七一、一〇〇、一〇三
 渡邊青年訓練所 一七三
 牛之部
 遺愛女學校 四九、五五、六六、七二、七三、一〇一、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一八三、一八三、一八九
 遺愛幼稚園 八三、一三〇
 遺愛幼稚園(第二) 一五四

ニ之部
 醫學所(函館病院) 一四、一五、一七、一九、二〇、二一、三三、三四、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四九、五〇、五三、五八、五九、七三、八八
 育兒會社 三、三三

第四部

雜

育兒講	一九、三	開港五十年祭	五	學校衛生婦	一五
醫事講究會	三	開拓使	一八、四	學校衛生婦會	一五
ウ之部		開拓使出張所	一九、三〇	學校衛生主事	一五
齋齒豫防デ	一六	開拓使學務局	七	學校齒科醫師會	一八
工之部		海洋少年團	一三	學校放送	一九
英語稽古所	五	改曆	三	龜田番所	二
映畫教育研究會	一七	高等公民講座	一六	假行政廳	七
衛生展覽會	一三	高等小學校教育五十年記念會	三〇	幹事(小學校)	三
幼學綱要	四	夏季生活學校	一七	キ之部	
蝦夷地御用掛	六	學事獎勵委員	三、四、五	機關術研究俱樂部	一
蝦夷奉行	二	學事取締、學事世話係	五、五	北のめざまし新聞	九
才之部		學制	二〇、四〇	義勇少年團	一七五、一八〇
大谷健兒團	一八	學生會	二三	切支丹資料展覽會	一七
大沼學院	一五〇	學童了式蹴球競技會	一八	勤儉貯蓄記念日	三〇
音樂週間	二〇	學務世話係	七、三、四、五	近世醫說	三
力之部		學校世話係	四	夕之部	
		學校映寫會	一三	區制實施	六

區役所	六	教員減俸	一八〇	國民精神作興週間	一八
區有書籍庫	六、六	教員練習會	四、四七	護國幼年會	九六、一〇一
皇太子殿下行啓記念	二三	健兒聯盟	一八、一五	御大禮奉祝	一三五、七〇
臥牛ボーイ、スカウト	一八	建國祭	一七	國權擁護市民大會	一八
願乘寺	三	コ之部		子供生活學校	一八
訓育研究會	一四	公園	四〇	五人組	九
訓育院	一四	交通安全協會	一七	コバルト會	一四
ケ之部		公民教育研究會	二〇	五稜郭公園	一〇
教育俱樂部	七〇	公民教育講座	三三	コレラ病流行	五
教育會創立五十周年記念式	一八	興友社セツトルメント	一〇	サ之部	
教育會運動場	一九、一五	興友社ホーム	一五	齋藤音樂堂	一七〇、一七一
教育關係者懇親會	一三、二七	公立小學校教育心得	三	論書	三
教育獎勵會	九	公立學校監督	六	論書(函館人民學事擴張ニ關スル)	一八、三三、三三、三三、三三、三三、六六
教育叢誌	七	五箇條御誓約	六	札幌神社	一八、三三、三三、三三、三三、三三、六六
教育調査會	一四	五箇條御誓文奉戴七十年記念	二	三縣	四
教育勅語奉讀式	七	克己日	一八	產婆術教授	九
教育勅語煥發四十年記念	一六、一七	五區小學校長會	三		

三、二一一大風火災 一八九、一九〇、一九一

シ之部

- 慈惠院 八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五
- 時習寮 一三四
- 思齊會 四四、四五、五五、五六
- 實行寺 三三
- 兒童安全デー 一四二
- 兒童榮養週間 一八二
- 兒童災害防止協議會 一七二
- 唱歌練習帳 一七五
- 乘車公德週間 二〇五
- 淨玄寺(東本願寺掛所) 三三
- 彰善館 一三四
- 正徳の制令 三三
- 商品陳列場(函館商業學校附屬) 七五、七六、七七

商品陳列館(函館商業學校附屬) 一七五

稱名寺 三三

- 書籍館 四八、五七、七〇、七三、七四
- 初等教育研究會 一四四
- 授業料徴収反對市民大會 一八三
- 手工科制定五十周年記念展覽會 二〇〇
- 巡回教員須知 元
- 巡查教習所 六
- 初等教育研究會第一回研究發表會 二〇〇
- 新「國語讀本」 一八六
- 新聞誌縱覽所 四
- ス之部
- 水電問題 一八六、一八八
- 數理研究會 一四
- 鈴蘭園 一三

セ之部

聖上陛下北海道御巡幸 二〇七、二〇八、二〇九

- 成人講座 一七二
- 成人教育講座 一七
- 聖誕讚仰の夕 一八三
- 青年學會 三
- 青年記念日 一六
- 青年會館 一五、一七
- 青年訓練所大會(第三回) 一八
- 青年教育指導者講習會 一八
- 青年團 一四、一五
- 小學學齡 三
- 小學教育研究會 一三
- 小學督業 五
- 小學校學校衛生研究會 一三
- 同 各科研究會 一八
- 同 訓育研究會 一八

小學校教員御親閱 一三

- 小學校教員製作教具展覽會 二〇
- 小學校教員精神作興大會 一三
- 小學校教員陸上競技會 一八
- 小學校教員籠球大會 一七
- 小學校教員互助會 一〇
- 小學校齒科醫 一三
- 小學校兒童齒科診療所 一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五
- 小學校常置看護婦講習會 一五
- 小學校兒童野球大會 一三
- 小學校兒童出場競技制限 一七
- 小學校兒童保護會聯合會 一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五
- 小學校兒童書初展覽會 一六
- 小學校工業科(商業科) 一三
- 小學校算術研究會 一五

小學校手工研究會 一五

- 小學校唱歌研究會 一五
- 小學校体操研究會 一五
- 小學校理科研究會 一五
- 小學校長協議會 一四
- 小學校女教員會議 一三
- 小學校女教員會 一〇
- 小學校女教員研究發表會 一八
- 小學校聯合体育大會 一五
- 招魂社 一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五
- 少年オリンピック大会(函館) 一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五
- 少年職業紹介 一四〇
- 攝政宮殿下行啓 一四
- 施療所 一四
- 選舉公營演說會 二〇
- 選舉肅正強調週間 二〇

選舉肅正 二〇

- 全國勤儉週間 一四
- 戰捷記念教育用品及戰利品展覽會 九
- 先住民遺物展覽會 一四
- 全日本映畫教育聯盟函館支部 一三
- ソ之部
- 綜合運動場 一七、一八、一九
- 尊法週間 一三
- 夕之部
- 体育協會 一五、一六
- 体育デ1 一五
- 講習會(函館教育協會第一次) 一六
- 大學東校 一九、二〇
- 大婚二十五年奉祝式 一四
- 大正天皇御大葬 一三
- 大都市高等小學校長會 一七

大日本護國幼年會	一四、二三
函館支部保護團	一四、二三
高田屋嘉兵衛贈位報告追弔祭	一三三
高田屋嘉兵衛百年祭	一五六
端艇競漕會	八三
チ之部	
女子青年團	一六
長慶天皇奉列御親告之御儀	一六〇
中央健兒團	一八〇
中 教 院	二一、二四、二五、二六
貞治六年の古碑	二
中等學校教科研究會	一五四
中等學校軍事教練	一五四
中等學校聯盟競技	一八七
創立發會式	一八七
千代見園	一一、三四、三六
女性函館	三〇六
ツ之部	
通信生養成所	一三一
通俗圖書館	一八一
圖書教育研究會	一三四
圖書教育研究會	一八一
テ之部	
天長節祝日	一一九、一二〇
點火運動大行列	八〇
天然痘豫防注射	二〇三
ト之部	
東京理科教育研究會	一三七
東京御成婚奉祝式	一四九
東 鄉 會	一七、一八三
統 理	三
時の記念日	一四
獨立婦人向上會	一五
ニ之部	
尼港殉難追悼會	一三七
入學試験内申制	一七一
ノ之部	
乃 木 會	一一〇、一二六
ハ之部	
博 物 場	三五、三六、三九、四〇 四八、五〇、五二、五六 五八、六〇、六二、六四 七〇、七二、七四、七八
橋本育英會	一九七
秦憶丸追悼祭	一八八
函 館 會 館	一六
函館學生會	一四三
函館區史	一三三
函館區共有文庫	六
函館區教育會	五、五五、五七
函館教育協會	四七、四九、五
函館教育協會雜誌	五
函館教育會雜誌	六、一〇、一
函館教育會雜誌	一六

函館教育雜誌	二六、二八
函 館 教 育	二八
函館教育會創立五十周年	一八
記念式	一八
函館教育義會	五九、六一
函 館 縣 縣	一八、四九、六〇
函館縣教育會	五九、六
函館健兒團	一四二
函館護國幼年會	一三、一七〇
箱館裁判所	一七、一八
函館市教育研究會	一四
函館市初等教育研究會	一四
第一回研究發表會	一〇〇
函館市教育是	一九七
函 館 市 是	一九
函 館 支 廳	一六〇、三
函館市地理讀本	一八
函館植物志	一八
函館書籍館	五、六、七
函館出張開拓使廳	三〇
函 館 新 聞	三、七
函館地方理科學習書	一七三
函館圖書館	九、一〇、一四、一〇六、一〇七、一〇九、一一三、一一八、一一九、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三五、一三六、一三五、一三七、一三五、一三五、一三五、一三五
函館の小學生	一四七
函館日日新聞	七
函館博物學會	二二
函館八幡宮	一三、三三、七、四、八三、一三三
箱館病院(函館病院)	一三、三三、七、四、八三、一三三
醫學所を知られよ	一七、一八
箱 館 府	一七、一八
箱館奉行	一一、二、三、三
函館放送局放送開始	一八三
函館緑葉會附屬圖書室	九、一〇、一一
フ之部	
プレキストン、ライン	五
プレキストン記念式	一三
復興都市建築材料陳列所	一九三
ヘ之部	
ペスタロツチ百年記念座談會	一三
ホ之部	
保育所(函館慈惠院附屬)	九
保育協會	三〇九
放送文化展覽會	一八四
北洋漁業視察	一九九
北 溟 社	三、三三、四、四
北 海 道	一八
北海道學事新報	四七、五一

北海道教育研究會	一八	明治九年御巡幸	三	ユ之部	
北海道慈惠會	一七	明治九年御巡幸行在之地記念碑	一三〇、一三一	游泳協會	一八
北海道社會事業デー	一七	明治十四年御巡幸	四七	ラヂオ体操會	一八
北海道史要	一七	明治神宮鎮座祭	一六	遷卒屯所	三
北海道廳	一七	明治天皇崩御	一六	リ之部	
北海道廳長官出張所	三、六	明治天皇御大葬	一七	流行性感冒	一四、一〇三
北海道圖書館先覺功勞者頌德慰靈祭	一八	明治天皇行幸五十年記念式	一五	理科展覽會	一七
北海道盲啞教育大會	一七	明治天皇二十年祭	一四	罹災兒童同情圖書雜誌	一四
北有學會	一七	明治天皇御上陸記念碑除幕式	一〇〇	臨時教育調查委員	一八
堀江町の大火(明治十二年)	一四			レ之部	
マ之部				歷史館	一三
松前奉行	三	木工傳習會	一三	聯合青年團	一七、一六、一六
ミ之部		木工傳習所	一三	聯合青年團團報	一四
港まつり	一九	ヤ之部		聯合女子青年團	一六
民政方病院	一七	養護學級	一五	聯合婦人會	一六
メ之部		野球統制	一八、一八	口之部	
明照園	一八〇				

六市小學校長會	一五	王政復古	六	小熊育英資金	一八、一〇
ロシヤノイロハ	一五	和魯通言比考	一三、一四	溫古舍文庫	一六
ワ之部		ヲ之部			

附

錄

- 一、函館市功勞者芳名
- 二、函館市教育功勞者芳名
- 三、北海道圖書館事業功勞者芳名

函館市功勞者芳名

—昭和十年七月二日第一回港まつりに際し、公園内に祭壇を築き左記函館市功勞者を選定し、その英靈を祀る—

宇須岸館主(初代)	河野政通	從五位下野守	竹内保徳	堀川乗經
宇須岸館主(二代)	河野季通	從五位下淡路守	村垣範正	柳田藤吉
	村上島之丞	從五位下安藝守	栗本鯤	木津孝吉
從五位下安藝守	羽太正養	從四位兵庫頭	杉浦誠	横山松三郎
	富山元十郎	從五位下伊豆守	河津祐邦	黒田清隆
贈正五位	高田屋嘉兵衛	從五位	武田斐三郎	時任爲基
贈從五位	高田屋金兵衛		代島剛平	園田實徳
贈從五位	工樂松右衛門		鹽田順庵	藍綬褒章 常野正義
贈從五位	中川五郎治		鈴木主一郎	從六位藍綬褒章 渡邊孝平
	島野市郎治		松代伊兵衛	(二代) 渡邊熊四郎
	入江善吉		西川晚翠	藍綬褒章 平田文右衛門
	蛭子吉藏		澁田利右衛門	藍綬褒章 今井市右衛門
從五位	松浦武四郎	贈從五位	續豊治	藍綬褒章 平塚時藏
從五位下織部正	堀利麿	贈從五位	松川辨之助	杉浦嘉七

贈從五位	小林重吉		中川嘉兵衛	綠綬褒章	岡本忠藏
藍綬褒章	金子利吉		淺田清次郎	正五位勳三等	佐々木平次郎
	伊藤鑄之助	藍綬褒章	遠藤吉平		和島貞二
	田中正右衛門		永田方正	正六位勳四等	平出喜三郎
	逸見小右衛門	藍綬褒章	新妻甚八	勳三等	堤清六
	辻松之丞	紺綬褒章	相馬哲平		森卯兵衛
(初代)	平出喜三郎		吉岡憲		加賀與吉
	馬場民則	勳八等	長尾含		

函館市教育功勞者芳名

昭和九年二月四日函館教育會創立五十周年記念式典に於て

一、表彰狀並ニ記念品贈呈者

(各項毎ニ五十音順)

◎教育事業功勞者 (七拾五名)

渡邊熊四郎	渡邊孝平	故荒井八郎右衛門	故秋山東助
小熊幸一郎 (三名)		故今井市右衛門	故伊藤鑄之助
		故泉藤兵衛	故石川小十郎
		故上田武右衛門	故興村忠衛

二、感謝狀贈呈者

故大場喜右衛門	故大宅民藏	西村彦次郎	故野口貞翁
故沖田藤吉	故龜井惣十郎	故濱時藏	故長谷紋三郎
故金子利吉	故金澤彦作	故林悅郎	故ハリス夫人
勝木照松	神永貞助	橋谷巳之吉	長谷川淑夫
故カロライン、ライト夫人	故菊池治郎右衛門	函館國産組合	故平田文右衛門
故工藤彌兵衛	故小林重吉	故平塚時藏	故藤野文藏
故佐藤三左衛門	故佐藤作太郎	故丸山文右衛門	故松下熊槌
故澤田重吉	故砂原松右衛門	故三上八十八	故宮崎五左衛門
故齋藤哲郎	故品田鹿造	宮本武之助	故村田駒吉
故白鳥宇兵衛	故白鳥衡平	故柳田藤吉	故安浪治郎吉
故杉浦嘉七	故杉村佐右衛門	故山田邦彦	山崎松藏
故須佐伴助	故相馬哲平	故ユースデン	故米木權左衛門
故武田斐三郎	故田中正右衛門	故吉岡憲	吉村善右衛門
龍岡信熊	故種田直右衛門	吉村久三郎	吉村菊松
故常野正義	筒井又三郎	故渡邊孝平	故渡邊熊四郎
故藤山正兵衛	外山平治	故渡邊儀三郎	故和田幸太郎
日本郵船株式會社		故井ノ川傳右衛門	
	日魯漁業株式會社		

◎私塾其他學校創立經營功勞者

(三十五名)

故淺井庄八 故アンデレス
 故大場律平 臥牛學校
 惠以小學校 故小寺義雄
 高龍寺 故高野寺
 故佐々木作左衛門 故澤清司
 稱名寺 實行寺
 故章克巳 正敦學校
 故代島剛平 故辻信藏
 豐川學校 西別院
 社団法人日本聖保祿會函館支部 故ネトルシップ
 濱野學校 東別院
 故古川藤左衛門 福田學校
 故北條玉洞 堀川道藏
 村田學校 故森小市
 故森梅太郎 大和女子小學校

有隣學校

故ラツセル

故若山保平

荻田吉二郎

故松代伊兵衛

◎教育當務功勞者 (二十八名)

秋尾八四郎 石澤末次郎
 内海十三郎 故宇野兼三
 故尾古謙藏 オネージム
 オーガスタ、デカルソン 川村文平
 故北原瑞穂 故神山和雄
 菅村純之 故關重孝
 故武田安之助 高橋文五郎
 故名和淵海 故長尾含
 故松山伯一 故松崎ヒサ
 故マイライネ、ドレパール女史 故マリ、オリエ
 故三坂亥吉 安田力
 吉岡熊雄 吉田元利
 和田喜八郎 井上源太郎

小田四十一

平賀吉治

◎女子教育功勞者 (十六名)

大石裁縫女學校 鷗春裁縫女學校
 進徳裁縫女學校 昭和技藝學校
 仙北裁縫女學校 函館裁縫專門學校
 早川裁縫女學校 函館大妻女子高等技藝學校
 函館家政女學校 函館裁縫學校
 函館女子職業學校 双葉裁縫女學校
 北海裁縫女學校 松森裁縫女學校
 明華裁縫女學校 山田裁縫女學校

◎圖書館事業功勞者 (十八名)

故泉孝三 故石田良助
 故蛭子興太郎 故大澤和之
 故工藤忠平 故澁田利右衛門
 澁谷金次郎 故種勘七
 故千葉重吉 故林宇三郎
 故平出喜三郎 故二木彦七

故村尾元長

故吉田義芳

故井川武策

故井深基

故小貫庸徳

岡田健藏

◎青年教育功勞者 (十八名)

安達信雄 岩崎梅吉
 内山敏美 江崎由松
 大坪孝一 草野芳男
 小平義房 近藤憲
 櫻井利吉 柴田文作
 高村新次郎 竹村芳雄
 竹村政雄 長岡清三郎
 能戸英三 橋本常吉
 井筒五郎 今井淺雄
 ◎体育功勞者 (十五名)
 伊豫田徳次郎 板谷爲吉
 大澤三洋 浦生武彦
 國領榮一 故佐々木富治

故 神 茂夫
 故 齋 藤 久
 故 首 藤 諒
 西 村 忠 一
 能 戶 清 吉
 堀 川 經 道
 松 代 林 太 郎
 三 田 國 衛
 吉 田 守 一

◎學校衛生功勞者(三名)

高 橋 米 治 松 田 定 夫
 故 渡 邊 元 伸

◎社會教育及特殊教育功勞者(十二名)

故 大 條 敬 吉 栗 栖 仲 治
 故 佐 藤 政 治 郎 故 篠 崎 清 次
 故 信 濃 治 助 清 野 鐵 之 助
 寺 井 四 郎 兵 衛 故 仲 山 與 七
 故 名 井 勝 次 郎 横 山 軫
 岡 田 普 理 衛
 ◎兒童保護會功勞者(五十六名)
 秋 山 欽 也 石 川 留 吉

今 井 辰 太 郎
 岩 田 菊 三 郎
 大 塚 巖
 故 大 久 保 利 助
 龜 井 喜 一 郎
 加 藤 龍 初
 熊 谷 末 吉
 齋 藤 榮 三 郎
 白 水 嘉 藏
 雨 見 淳 太 郎
 故 鋪 寶 太 郎
 菅 原 久 五 郎
 種 田 榮 次 郎
 田 中 友 次 郎
 田 邊 顯 夫
 鳥 井 小 次 郎
 故 中 村 諭 次 郎

岩 崎 治 太 郎
 內 田 淺 吉
 大 島 德 松
 奧 村 源 八
 故 片 山 朝 治
 氣 仙 龜 之 助
 小 山 與 三 郎
 故 佐 野 政 次
 故 白 金 定 之
 故 澁 谷 源 吉
 故 清 水 麟 太 郎
 瀧 野 常 吉
 竹 內 百 藏
 田 代 正 治
 塚 田 才 次 郎
 中 田 善 七
 中 田 幸 藏

糠 谷 庸 故 野 村 正 之 助
 故 林 豐 三 郎 濱 岡 重 藏
 濱 田 縫 之 助 古 川 金 兵 衛
 松 本 甚 作 宮 崎 大 四 郎
 宮 澤 嘉 貞 山 本 謙 助
 山 口 樂 平 故 山 本 喜 勇

四 ッ 柳 龜 太 郎
 渡 邊 正 雄
 小 畑 德 太 郎
 小 野 鐵 藏

綿 引 綱
 渡 邊 鐵 太 郎
 故 小 熊 新 三 郎
 折 居 儀 一 郎
 (以上二百七十九名)

北海道圖書館事業功勞者芳名

昭和八年十一月七日圖書館週間に際し、市立函館圖書館に於て北海道圖書館事業功勞者の英靈を祀る

萬卷樓儼典館文庫(弘化年間創設。福山)

松前藩主十六世 松 前 昌 廣

澁田文庫(弘化年間創設。箱館)

澁田利右衛門

圖書館博物館設立建策(明治四年十月九日)

開拓使顧問 ホーラン、ケブロン

新聞誌縱覽所(明治六年六月創設。函館)

渡邊熊四郎

思齊會文庫(明治十五年創設。函館)

今井市右衛門
 平塚時藏

村尾元長
 大澤和之
 吉田義方
 蛭子興太郎
 井深庸基
 小貫德

井川武策	伊藤鑄之助	石田良助	種勘七	千葉重吉	網走圖書館(明治四十三年創設。網走)	大谷長敏	松岡陸三藏	渡邊長藏
井川武策	伊藤鑄之助	石田良助	種勘七	千葉重吉	北駕文庫(明治四十四年創設。札幌)	京谷勇次郎	淺羽靖	渡邊兵四郎
井川武策	伊藤鑄之助	石田良助	種勘七	千葉重吉	小樽圖書館(大正四年創設。小樽)	渡邊兵四郎		
井川武策	伊藤鑄之助	石田良助	種勘七	千葉重吉	私立函館圖書館(明治四十一年創設。函館)	泉孝三	工藤忠平	平出喜三郎
井川武策	伊藤鑄之助	石田良助	種勘七	千葉重吉	公立函館書籍館(明治二十一年創設。函館)	金子利吉	林宇三郎	平田兵五郎
井川武策	伊藤鑄之助	石田良助	種勘七	千葉重吉	公立函館書籍館(明治二十一年創設。函館)	二木彦七	渡邊熊四郎	平田兵五郎

正誤表

頁數	其日	誤	正
三十一元	欄外	査閱濟	檢閱濟
四	五、九	和露通言比考	和魯通言比考
五	五、九	ろしやノイロハ	ロシヤノイロハ
七	三、五	稜五郭	五稜郭
二	七、三	本校	東校
六	二、三	嘉辰に付	嘉辰に付
七	三、八	小學校則	小學校則
三	七、六	松蔭二十九會名所	松蔭二十九名會所
三	七、六	住吉小學校	住吉學校
三	二、九	函館病院醫院	函館病院醫員
元	五、	中山信成	中山信成
四	七、	舉げ	舉げ
四	二、三	エビスコバル	エビスコバル
五	二、三	生徒	生徒
五	四、三	生徒	生徒
六	四、三	て追	追て
六	九、七	函館露學校	函館露語學校
六	一〇、七	函館露學校	函館露語學校

二〇	挿繪	函函幼稚園
一九	七、ニ	六十四名
一八	五、一	開校式を擧ぐの次へ挿入
一七	一〇、三〇	東郷會沿革史
一六	八、	八月三日の次へ挿入
一五	七、五	岡健藏
一四	三、	函館中等女子夜學校
一三	六、三〇	特殊小學校
一二	四、一	龜田尋常小學校
一一	二、一〇	大饗
一〇	一〇、三	天長節
〇九	七、五	有栖宮
〇八	四、一	實尋常高等小學校
〇七	九、二	四月を全部
〇六	八、三	島貫政治
〇五	六、九	函館中學校
〇四	二、二	尋常高等小學
〇三	一、	附屬品陳列場
〇二	六、二	彌生小學校
〇一	一、三	彌生小學校

二九	一ノ三	一輯
二八	一ノ二	教育五助會
二七	エ之部	エドワート
二六	エ之部	エドワート
二五	エ之部	エドワート
二四	エ之部	エドワート

二〇	函館幼稚園	六十五名
一九	開校式を擧ぐの次へ挿入	東郷會沿革史
一八	八月三日の次へ挿入	松森裁縫女學校創設。榮町三四番地松森(山田)タケ。
一七	岡健藏	校長 佐々茂雄
一六	函館女子中等夜學校	大饗
一五	特殊小學校	天長節祝日
一四	龜田尋常高等小學校	有栖宮
一三	大饗	實尋常高等小學校
一二	天長節祝日	八月と訂正
一一	有栖宮	島貫政治
一〇	實尋常高等小學校	私立若山尋常小學校を加ふ
〇九	四月を全部	函館尋常中學校
〇八	島貫政治	尋常高等小學
〇七	函館中學校	附屬品陳列場
〇六	尋常高等小學	彌生小學校
〇五	附屬品陳列場	彌生小學校

二九	第一輯	教育五助會
二八	教育五助會	エドワート
二七	エドワート	エドワート
二六	エドワート	エドワート
二五	エドワート	エドワート
二四	エドワート	エドワート

昭和十二年三月十三日津輕要塞司令部檢閱済

昭和十二年八月二十日印刷納本
昭和十二年八月二十五日發行

編者 神山茂

發行者 函館市豊川町三十番地
社団法人函館教育會長
齋藤與一郎

發行所 函館市豊川町三十番地
社団法人 函館教育會

印刷人 函館市寶町一番地
花岡新太郎

印刷所 函館市寶町一番地
日新社花岡印刷所

終

